

第1788号
令和4年4月15日号発行
最高裁判所
事務総局
(毎月1日・15日発行)

裁判所時報

(目次)

◎裁判例

1

(民事)

- 使用者が誠実に団体交渉に応すべき義務に違反する不当労働行為をした場合には、当該団体交渉に係る事項に関して合意の成立する見込みがないときであっても、労働委員会は、使用者に対して誠実に団体交渉に応すべき旨を命ずることを内容とする救済命令を発することができる
(令和3年(行ヒ)第171号・令和4年3月18日 第二小法廷判決 破棄差戻し)

- いわゆる一括分割により不動産を取得した場合における地方税法73条の7第2号の3括弧書きの「分割前の当該共有物に係る持分の割合を超える部分」の有無等は、分割の対象とされた個々の不動産ごとに判断すべきである

(令和3年(行ヒ)第62号・令和4年3月22日 第三小法廷判決 異却)

- 人身傷害保険について保険会社が被害者に対して自賠責保険分を含めて一括払することを合意した場合において、保険会社が自賠責保険から支払を受けた損害賠償額相当額を被害者の損害賠償請求権の額から控除することができないとされた事例

(令和2年(受)第1198号・令和4年3月24日 第一小法廷判決 破棄自判)

◎最高裁判所判例要旨

8

(民事)

- 不法行為に基づく損害賠償債務の遅延損害金を民法405条の適用又は類推適用により元本に組み入れることの可否

(令和2年(受)第1518号・令和4年1月18日 第三小法廷判決 異却)

- 離婚に伴う慰謝料として夫婦の一方が負担すべき損害賠償債務が履行遅滞となる時期

(令和2年(受)第1765号・令和4年1月28日 第二小法廷判決 一部破棄自判, 一部異却, 一部却下)

(刑事)

- 1 刑法168条の2第1項にいう「その意図に沿うべき動作をさせず、又はその意図に反する動作をさせるべき不正な指令を与える電磁的記録」に当たるか否かの判断方法
- 2 ウェブサイトの閲覧者の同意を得ることなくその電子計算機を使用して仮想通貨のマイニングを行わせるプログラムコードが不正指令電磁的記録に当たらないとされた事例

(令和2年(あ)第457号・令和4年1月20日 第一小法廷判決 破棄自判)

◎資料

9

- 令和4年度予算について

◎記事

9

- 人事異動(3月25日~4月1日)

◎最高裁判所通達・告示

39

- 「大法廷首席書記官等に関する規則の運用について」の一部改正について
- 最高裁判所告示第三号



裁判例

民事

◎使用者が誠実に団体交渉に応すべき義務に違反する不当労働行為をした場合には、当該団体交渉に係る事項に関して合意の成立する見込みがないときであっても、労働委員会は、使用者に対して誠実に団体交渉に応すべき旨を命ずることを内容とする救済命令を発することができる

件名 山形大学不当労働行為救済命令取消請求事件

最高裁判所令和3年(行ヒ)第171号
令和4年3月18日 第二小法廷判決 破棄差戻し

上告人 山形県

同補助参加人 Z

被上告人 国立大学法人山形大学

原審 仙台高等裁判所

主文

原判決を破棄する。

本件を仙台高等裁判所に差し戻す。

理由

上告代理人村山永の上告受理申立て理由について

1 本件は、労働組合である上告補助参加人から、使用者である被上告人の団体交渉における対応が労働組合法7条2号の不当労働行為に該当する旨の申立て(以下「本件申立て」という。)を受けた処分行政庁が、上告補助参加人の請求に係る救済の一部を認容し、その余の申立てを棄却する旨の命令(以下「本件命令」という。)を発したところ、被上告人が、上告人を相手に、本件命令のうち上記の認容部分(以下「本件認容部分」という。)の取消しを求める事案である。

2 原審の確定した事実関係の概要は、次のとおりである。

(1) 国立大学である山形大学を設置する被上告人は、平成25年頃、その雇用する教職員等によって組織された労働組合である上告補助参加人に対し、平成24年度の人事院勧告に倣って平成26年1月1日から教職員のうち55歳を超える者の昇給を抑制することにつき、団体交渉の申入れをした。

(2) 被上告人は、平成26年頃、上告補助参加人に対し、平成26年度の人事院勧告に倣って平成27年4月1日から教職員の給与制度の見直し(賃金の引下げ)をすることにつき、団体交渉の申入れをした。

(3) 被上告人は、平成25年11月以降、上告補助参加人との間で、上記(1)及び(2)の各事項(以下「本件各交渉事項」という。)につき複数回の団体交渉をしたが、その同意を得られないまま、同27年1月1日から上記(1)の昇給の抑制を実施し、同年4月1日から上記(2)の見直し後の給与制度を実施した。

(4) 上告補助参加人は、平成27年6月22日、処分行政庁に対し、本件申立てをした。

本件申立ては、本件各交渉事項に係る団体交渉における被上告人の対応が不誠実で労働組合法7条2号の不当労働行為に該当するとして、被上告人に対し、本件各交渉事項につき誠実に団体交渉に応すべき旨及び上記団体交渉につき不当労働行為であると認定されたこと等を記載した文書の掲示等をすべき旨を命ずる内容の救済を請求するものである。

(5) 処分行政庁は、平成31年1月15日付けで、被上告人に対し、本件命令を発した。

本件命令は、本件各交渉事項に係る団体交渉における被上告人の対応につき、昇給の抑制や賃金の引下げを人事院勧告と同程度にすべき根拠についての説明や資料の提示を十分にせず、法律に関する誤った理解を前提とする主張を繰り返すなどかたくななものであったとして、労働組合法7条2号の不当労働行為に該当するとして、被上告人に対し、本件各交渉事項につき、適切な財務情報等を提示するなどして自らの主張に固執することなく誠実に団体交渉に応すべき旨を命じ(本件認容部分)、その余の申立てを棄却するものである。

3 原審は、上記事実関係の下において、要旨次のとおり判断し、本件認容部分は違法であるとして、その取消しを求める被上告人の請求を認容すべきものとした。

本件命令が発せられた当時、昇給の抑制や賃金の引下げの実施から4年前後経過し、関係職員全員についてこれらを踏まえた法律関係が積み重ねられていたこと等からすると、その時点において、本件各交渉事項につき被上告人と上告補助参加人とが改めて団体交渉をしても、上告補助参加人にとって有意な合意を成立させることは事実上不可能であったと認められるから、仮に被上告人に本件命令が指摘するような不当労働行為があったとしても、処分行政庁が本件各交渉事項についての更なる団体交渉をすることを命じたことは、その裁量権の範囲を逸脱したものといわざるを得ない。

4 しかしながら、原審の上記判断は是認することができない。その理由は、次のとおりである。

(1) 労働委員会は、救済命令を発するに当たり、不当労働行為によって発生した侵害状態を除去、是正し、正常な集団的労使関係秩序の迅速な回復、確保を図る

という救済命令制度の本来の趣旨、目的に由来する限界を逸脱することは許されないが、その内容の決定について広い裁量権を有するのであり、救済命令の内容の適法性が争われる場合、裁判所は、労働委員会の上記裁量権を尊重し、その行使が上記の趣旨、目的に照らして是認される範囲を超えて、又は著しく不合理であって濫用にわたると認められるものでない限り、当該命令を違法とすべきではない（最高裁昭和45年（行ツ）第60号、第61号同52年2月23日大法廷判決・民集31巻1号93頁参照）。

労働組合法7条2号は、使用者がその雇用する労働者の代表者と団体交渉をすることを正当な理由なく拒むことを不当労働行為として禁止するところ、使用者は、必要に応じてその主張の論拠を説明し、その裏付けとなる資料を提示するなどして、誠実に団体交渉に応すべき義務（以下「誠実交渉義務」という。）を負い、この義務に違反することは、同号の不当労働行為に該当するものと解される。そして、使用者が誠実交渉義務に違反した場合、労働者は、当該団体交渉に関し、使用者から十分な説明や資料の提示を受けることができず、誠実な交渉を通じた労働条件等の獲得の機会を失い、正常な集団的労使関係秩序が害されることとなるが、その後使用者が誠実に団体交渉に応ずるに至れば、このような侵害状態が除去、是正され得るものといえる。そうすると、使用者が誠実交渉義務に違反している場合に、これに対して誠実に団体交渉に応すべき旨を命ずることを内容とする救済命令（以下「誠実交渉命令」という。）を発することは、一般に、労働委員会の裁量権の行使として、救済命令制度の趣旨、目的に照らして是認される範囲を超えて、又は著しく不合理であって濫用にわたるものではないといべきである。

ところで、団体交渉に係る事項に関して合意の成立する見込みがないと認められる場合には、誠実交渉命令を発しても、労働組合が労働条件等の獲得の機会を現実に回復することは期待できないものともいえる。しかしながら、このような場合であっても、使用者が労働組合に対する誠実交渉義務を尽くしていないときは、その後誠実に団体交渉に応ずるに至れば、労働組合は当該団体交渉に関して使用者から十分な説明や資料の提示を受けることができるようになるとともに、組合活動一般についても労働組合の交渉力の回復や労使間のコミュニケーションの正常化が図られるから、誠実交渉命令を発することは、不当労働行為によって発生した侵害状態を除去、是正し、正常な集団的労使関係秩序の迅速な回復、確保を図ることに資するものといべきである。そうすると、合意の成立する見込みがないことをもって、誠実交渉命令を発することが

直ちに救済命令制度の本来の趣旨、目的に由来する限界を逸脱するということはできない。

また、上記のような場合であっても、使用者が誠実に団体交渉に応ずること自体は可能であることが明らかであるから、誠実交渉命令が事実上又は法律上実現可能性のない事項を命ずるものであるとはいえないし、上記のような侵害状態がある以上、救済の必要性がないということもできない。

以上によれば、使用者が誠実交渉義務に違反する不当労働行為をした場合には、当該団体交渉に係る事項に関して合意の成立する見込みがないときであっても、労働委員会は、誠実交渉命令を発することができると解するのが相当である。

(2) 本件認容部分は、被上告人が誠実交渉義務に違反する不当労働行為をしたとして、被上告人に対して本件各交渉事項につき誠実に団体交渉に応すべき旨を命ずる誠実交渉命令であるところ、原審は、本件各交渉事項について、被上告人と上告補助参加人とが改めて団体交渉をしても一定の内容の合意を成立させることは事実上不可能であったと認められることのみを理由として、本件認容部分が処分行政庁の裁量権の範囲を逸脱したものとして違法であると判断したものである。そうすると、原審の上記判断には、判決に影響を及ぼすことが明らかな法令の違反があるというべきである。

5 以上によれば、論旨は理由があり、原判決は破棄を免れない。そして、本件各交渉事項に係る団体交渉における被上告人の対応が誠実交渉義務に違反するものとして不当労働行為に該当するか否か等について更に審理を尽くさせるため、本件を原審に差し戻すこととする。

よって、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。

（裁判長裁判官 岡村和美 裁判官 菅野博之 裁判官 三浦 守 裁判官 草野耕一）

◎ いわゆる一括分割により不動産を取得した場合における地方税法73条の7第2号の3括弧書きの「分割前の当該共有物に係る持分の割合を超える部分」の有無等は、分割の対象とされた個々の不動産ごとに判断すべきである

件名 不動産取得税賦課処分取消請求事件

最高裁判所令和3年（行ヒ）第62号

令和4年3月22日 第三小法廷判決棄却

上告人 X

被上告人 東京都

原審 東京高等裁判所

主文

本件上告を棄却する。

上告費用は上告人の負担とする。

理由

上告人の上告受理申立て理由について

1 原審の適法に確定した事実関係等の概要は、次のとおりである。

(1) 地方税法73条の2第1項は、不動産取得税は、不動産の取得に対し、当該不動産の取得者に課する旨規定し、同法73条の7第2号の3は、共有物の分割による不動産の取得に対しては、同号括弧書きに規定する「当該不動産の取得者の分割前の当該共有物に係る持分の割合を超える部分」（以下「持分超過部分」という。）の取得を除き、同税を課することができない旨規定する。

(2) 第1審判決別紙1物件目録記載の各不動産（以下「本件各不動産」という。）は、いずれも、Aが持分10分の6、上告人ほか3名が各持分10分の1の割合で共有していたところ、東京地方裁判所は、平成27年8月、本件各不動産に係る共有物分割の訴えについて、これらを一括して分割の対象とした上で、そのうち同目録記載17、20及び23の各土地（以下「本件各土地」という。）ほか1筆の土地を上告人の単独所有とし、その余を他の共有者らの各単独所有とすることなどを内容とする判決を言い渡し、同判決は、その後確定した。

東京都足立都税事務所長は、平成30年2月7日付で、上告人に対し、上記の共有物の分割により上告人が本件各土地の各持分10分の9を取得したこと（以下「本件各取得」という。）に対する不動産取得税の賦課決定処分（以下「本件各処分」という。）をした。

2 本件は、上告人が、被上告人を相手に、本件各処分の取消しを求める事案である。所論は、本件各取得に対しては地方税法73条の7第2号の3の規定により不動産取得税を課することができないにもかかわらず、本件各処分を適法とした原審の判断には、同号の解釈の誤りがあるというものである。

3(1) 地方税法73条の7第2号の3は、共有物の分割による不動産の取得について、同法73条の2第1項にいう「不動産の取得」に該当し、本来は不動産取得税の課税の対象となることを前提に、その例外として、持分超過部分の取得を除いては非課税とする旨を定めたものと解される。

前記1(2)のとおり、上告人は、複数の不動産を一括して分割の対象とする共有物の分割により、本件各土地の各持分10分の9を取得したものであることから、このような場合における持分超過部分の有無及び額の判断の方法が問題となる。

(2) 地方税法73条の13第1項は、不動産取得税の課税標準を、不動産を取得した時における不動産の価格とする旨規定し、同法73条の21第1項本文は、固定資産課税台帳に固定資産の価格が登録されている不動産については、当該価格により当該不動産に係る同税の課税標準となるべき価格を決定するものとする旨規定する。そして、固定資産課税台帳は、原則として、登記簿に登記されている土地又は家屋（住家その他の建物をいう。）について、その価格等所定の事項を登録するものである（同法341条10号、12号）ところ、土地は1筆の土地ごとに、建物は1個の建物ごとに登記されている（不動産登記法2条5号参照）。

また、地方税法73条の15の2第1項は、不動産取得税の課税標準となるべき額が所定の額に満たない場合においては、同税を課することができない旨を規定するところ、同条2項は、複数の土地の取得又は複数の家屋の取得をもって一の土地の取得又は1戸の家屋の取得とみなして同条1項の規定を適用する場合について、特に規定している。

以上のような不動産取得税に関する地方税法の規定の内容等に照らせば、同税は、個々の不動産の取得ごとに課されるものであるということができる。

そうすると、共有物の分割による不動産の取得に係る持分超過部分の有無及び額については、複数の不動産を一括して分割の対象とする場合であっても、その対象とされた個々の不動産ごとに判断すべきものと解するのが、不動産取得税の課税の仕組みと整合的であるというべきであり、また、地方税法73条の7第2号の3括弧書きの「分割前の当該共有物に係る持分の割合」という文言にも沿う解釈ということができる。

したがって、複数の不動産を一括して分割の対象と

する共有物の分割により不動産を取得した場合における持分超過部分の有無及び額については、分割の対象とされた個々の不動産ごとに、分割前の持分の割合に相当する価格と分割後に所有することとなった不動産の価格とを比較して判断すべきものと解するのが相当である。

(3) 前記事実関係等によれば、上告人は、共有物の分割により、従前は持分10分の1を有していた本件各土地について、それぞれ、他の共有者から、その余の持分10分の9を取得したというのであるから、本件各取得の全部が持分超過部分の取得に当たることが明らかである。したがって、本件各取得に対しては地方税法73条の7第2号の3の規定により不動産取得税を課すことができないとはいえない。

4 所論の点に関する原審の判断は、以上の趣旨をいうものとして、是認することができる。論旨は採用することができない。

よって、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。

(裁判長裁判官 戸倉三郎 裁判官 宇賀克也 裁判官
林 道晴 裁判官 長嶺安政 裁判官 渡邊惠理子)

◎ 人身傷害保険について保険会社が被害者に対して自賠責保険分を含めて一括払することを合意した場合において、保険会社が自賠責保険から支払を受けた損害賠償額相当額を被害者の損害賠償請求権の額から控除することができないとされた事例

件名 損害賠償請求事件

最高裁判所令和2年(受)第1198号
令和4年3月24日 第一小法廷判決 破棄自判

上告人 X

被上告人 Y

原審 福岡高等裁判所

主 文

1 原判決を次のとおり変更する。

(1) 上告人の控訴に基づき第1審判決を次のとおり変更する。

被上告人は、上告人に対し、156万3978円及びうち140万7804円に対する平成30年5月31日から、うち14万円に対する平成29年4月25日から各支払済みまで年5分の割合による金員を支払え。

(2) 被上告人の附帯控訴を棄却する。

2 訴訟の総費用は、被上告人の負担とする。

理 由

上告代理人宮田卓弥ほかの上告受理申立て理由(ただし、排除されたものを除く。)について

1 本件は、交通事故によって傷害を受けた上告人が、加害車両の運転者である被上告人に対し、民法709条又は自動車損害賠償保障法(以下「自賠法」という。)3条に基づき、損害賠償を求める事案である。本件においては、上告人の夫との間で人身傷害条項のある普通保険約款が適用される自動車保険契約を締結していた保険会社が、上記交通事故によって生じた上告人の損害について、自動車損害賠償責任保険(以下「自賠責保険」という。)から自賠法16条1項に基づく損害賠償額の支払として金員を受領していることから、上告人の被上告人に対する損害賠償請求権の額から上記金員に相当する額を全額控除することができるか否かが争われている。

2 原審の適法に確定した事実関係等の概要は、次のとおりである。

(1) 上告人は、平成29年4月25日、普通乗用自動車を運転中、交差点において、被上告人運転の普通

乗用自動車と衝突し、頸椎捻挫等の傷害を受けた(以下、この事故を「本件事故」という。)。

(2) 本件事故により上告人に生じた損害の額(弁護士費用相当額を除く。)は、合計341万1398円であるが、本件事故における上告人の過失割合は3割であることから、上記割合により過失相殺をすると、上告人が被上告人に対して賠償請求することができる損害金の額(弁護士費用相当額を除く。)は、238万7979円となる。

(3) 上告人は、本件事故によって生じた損害について、平成29年6月までに、被上告人が締結する対人賠償責任保険契約に基づく保険金23万8237円の支払を受け、平成30年3月12日には、自賠責保険から後遺障害による損害賠償額の支払として75万円を受領した。

(4) 上告人の夫は、本件事故当時、三井住友海上火災保険株式会社(以下「訴外保険会社」という。)との間で、人身傷害条項のある普通保険約款(以下「本件約款」という。)が適用される自動車保険契約(以下「本件保険契約」という。)を締結しており、上告人は上記条項に係る被保険者であった。

(5) 本件約款中の人身傷害条項及び基本条項には、要旨、次のような定めがあった。

ア 訴外保険会社は、被保険車両の運行に起因する事故等に該当する急激かつ偶然な外来の事故により、被保険者が身体に傷害を被ることによって被保険者等に生じた損害に対して、保険金(以下「人身傷害保険金」という。)を支払う。

イ 訴外保険会社の支払う人身傷害保険金の額は、人身傷害保険金額を限度として、本件約款所定の算定基準に従い算定された損害額(その額が自賠責保険から支払われる金額を下回る場合には、自賠責保険によって支払われる金額となる。また、賠償義務者があり、かつ、判決又は裁判上の和解において、賠償義務者が負担すべき損害賠償額が上記算定基準と異なる基準により算出された場合であって、その基準が社会通念上妥当であると認められるときは、その基準により算出された額のうち、訴訟費用等を除いた額となる。)から、人身傷害保険金の請求権者に対して自賠責保険によって支払われた金員等の既払額を差し引いた額とする。

ウ 上記アの損害が生じたことにより人身傷害保険金の請求権者が損害賠償請求権その他の債権を取得し、その損害に対して訴外保険会社が支払った人身傷害保険金の額が上記イの損害額の全額に満たない場合には、上記債権の額から、人身傷害保険金が支払われていない損害の額を差し引いた額の限度で、上記債権が訴外保険会社に移転する(以下「本件代位条項」という。)。

(6) 上告人は、本件事故に関して、平成29年5月6日、訴外保険会社に対し、本件保険契約に基づき、対人賠償保険金及び人身傷害保険金を請求した。その際、上告人が訴外保険会社に提出した請求書（以下「本件保険金請求書」という。）には、①対人賠償保険金の請求で、自賠責保険金相当額との一括払により保険金を受領した場合は、自賠法に基づく保険金の請求受領に関する一切の権限を訴外保険会社に委任する旨、②人身傷害保険金を受領した場合は、その額を限度として上告人が有していた賠償義務者に対する損害賠償請求権及び自賠法に基づく損害賠償額の請求受領権が訴外保険会社に移転することを確認する旨の各記載があった。

上告人は、同月31日、訴外保険会社から、自ら自賠責保険に直接請求するという方法がある旨の説明を受けた上で、人身傷害保険金について、訴外保険会社が自賠責保険による損害賠償額の支払分を含めて一括して支払うことを承諾した。

(7) 上告人は、平成30年5月24日、訴外保険会社に対し、本件保険契約に基づく人身傷害保険金を受領するに当たり、「保険金のお支払いについての協定書」（以下「本件協定書」という。）を提出した。本件協定書には、上告人が、本件事故による上告人の被上告人に対する損害賠償請求権は、自賠責保険への請求権を含め、受領した人身傷害保険金の額を限度として訴外保険会社に移転することを承認する旨の記載があった。

(8) 上告人は、本件事故によって生じた損害について、訴外保険会社から、平成30年5月15日までに14万6683円、同月30日に96万3498円の各支払を受けた（以下、これらの金員を「本件支払金」という。）。本件約款所定の算定基準に従い算定された本件事故によって生じた上告人の損害額（209万8418円）は、本件保険契約における人身傷害保険金額の限度内であり、本件支払金は、上記損害額から、上告人が受領した上記(3)の既払額（被上告人が締結する対人賠償責任保険契約に基づく保険金23万8237円と自賠責保険から後遺障害による損害賠償額の支払として受領した75万円の合計額）を控除した額と同額であった。本件支払金の全額が人身傷害保険金であるとした場合には、本件代位条項に基づき訴外保険会社が代位取得する上告人の債権の範囲は8万6762円である。

(9) 訴外保険会社は、その後、本件事故について、自賠責保険から上告人の傷害による損害賠償額の支払として83万5110円（以下「本件自賠金」という。）を受領した。

3 原審は、上記事実関係等の下において、要旨次

のとおり判断して、上告人の請求を一部認容すべきものとしたが、その際、上告人が自賠責保険から後遺障害による損害賠償額の支払として受領した75万円は支払時における損害金元本に対する本件事故の日からその支払日までの遅延損害金にまず充当されるという上告人の主張について、特段の理由を示すことなくこれを排斥し、上記金員の全額を上告人の損害金元本に充当する旨判断した。

上告人は、自賠責保険に直接請求することもできるという選択肢を示されながら、訴外保険会社が自賠責保険金を含めて保険金を一括して支払うことを承諾し、上告人が人身傷害保険金を受領した場合は、その額を限度として上告人が有していた自賠責保険金の請求受領権が訴外保険会社に移転することを確認したのであるから、上告人と訴外保険会社との間では、上告人が訴外保険会社から受領する保険金には自賠責保険金が含まれるとの合意があったものということができる。また、本件協定書によれば、上告人は、訴外保険会社に対し、受領した人身傷害保険金の限度で自賠責保険金の受領権限を委任したものと解される。そうすると、訴外保険会社は、上告人の委任に基づき本件自賠金の支払を受けたものであり、上告人は、これに先立ち本件支払金を受領したことにより本件自賠金の支払を受けたことになると解すべきである。したがって、上告人の被上告人に対する損害賠償請求権の額から本件自賠金に相当する額を全額控除することができる。

4 しかしながら、原審の上記判断は是認することができない。その理由は、次のとおりである。

(1) 本件約款によれば、人身傷害条項の適用対象となる事故によって生じた損害について訴外保険会社が保険金請求権者に支払う人身傷害保険金の額は、保険金請求権者が同事故について自賠責保険から損害賠償額の支払を受けていないときには、上記損害賠償額を考慮することなく所定の基準に従って算定されるものとされている。このことからすれば、訴外保険会社と保険金請求権者との間で、人身傷害保険金について、訴外保険会社が保険金請求権者に対して自賠責保険による損害賠償額の支払分を含めて一括して支払う旨の合意（以下「人傷一括払合意」という。）をした場合であっても、本件のように訴外保険会社が人身傷害保険金として給付義務を負うとされている金額と同額を支払ったにすぎないときには、保険金請求権者としては人身傷害保険金のみが支払われたものと理解するのが通常であり、そこに自賠責保険による損害賠償額の支払分が含まれているとみるのは不自然、不合理である。加えて、本件代位条項によれば、人身傷害保険金を支払った訴外保険会社は、人身傷害保険金の額と被害者の加害者に対する過失相殺後の損害賠償請求権の

額との合計額が、被害者について社会通念上妥当であると認められる判決等の基準により算出された過失相殺前の損害額に相当する額を上回るときに限り、その上回る部分に相当する額の範囲で保険金請求権者の賠償義務者等に対する債権を代位取得するものとされているので、本件のように被害者の損害について過失相殺がされる場合には、訴外保険会社が人身傷害保険金の支払により代位取得することができる上記債権の範囲は保険金支払額を下回ることとなる。この場合において、人傷一括払合意により訴外保険会社が支払う金員の中に自賠責保険による損害賠償額の支払分が含まれるとして、当該支払分の全額について訴外保険会社が自賠責保険から損害賠償額の支払を受けることができるものと解すると、訴外保険会社が、別途、人身傷害保険金を追加払しない限り、訴外保険会社が最終的に負担する額が減少し、被害者の損害の填補に不足が生ずることとなり得るが、このような事態が生ずる解釈は、本件約款が適用される自動車保険契約の当事者の合理的意思に合致しないものというべきである。

また、本件保険金請求書では、対人賠償保険金の請求において自賠責保険金相当額との一括払により保険金を受領した場合には、自賠法に基づく保険金の請求及び受領に関する一切の権限を訴外保険会社に委任するものとされているのに対し、人身傷害保険金を受領した場合には、その額を限度として上告人が有していた賠償義務者に対する損害賠償請求権及び自賠法に基づく損害賠償額の支払請求権が訴外保険会社に移転することを確認するものとされており、対人賠償保険金の受領の場合と人身傷害保険金の受領の場合とで異なる説明内容となっている。さらに、本件協定書においても、上告人の被上告人に対する損害賠償請求権及び自賠責保険への請求権は、上告人が受領した人身傷害保険金の額を限度として訴外保険会社に移転することを承認するものとされている。人身傷害保険金の受領に関する上記各書面の説明内容と本件代位条項を含む本件約款の内容とを併せ考慮すると、上記各書面の説明内容は、訴外保険会社が本件代位条項に基づき保険代位することができることについて確認あるいは承認する趣旨のものと解するのが相当であり、上告人が訴外保険会社に対して自賠責保険による損害賠償額の支払の受領権限を委任する趣旨を含むものと解することはできない。人傷一括払合意をしていたことは、上記の解釈を左右するものとは解し難く、そのほか、人身傷害保険金の支払を受けるに当たり、上告人が訴外保険会社に対して自賠責保険による損害賠償額の支払の受領権限を委任したものと解すべき事情も存しない。

以上によれば、本件においては、上告人が訴外保険会社に対して自賠責保険による損害賠償額の支払の受

領権限を委任したと解することはできず、訴外保険会社が上告人に対して本件支払金を支払ったことにより自賠責保険による損害賠償額の支払がされたことになると解することもできない。本件支払金は、その全額について、本件保険契約に基づく人身傷害保険金として支払われたものといえるから、訴外保険会社は、この支払により保険代位することができる範囲において、自賠責保険に対する請求権を含む上告人の債権を取得し、これにより上告人は被上告人に対する損害賠償請求権をその範囲で喪失したものと解すべきであり、その後に訴外保険会社が本件自賠金の支払を受けたことは、上告人の被上告人に対する損害賠償請求権の有無及び額に影響を及ぼすものではない。

したがって、上告人の被上告人に対する損害賠償請求権の額から、訴外保険会社が本件支払金の支払により保険代位することができる範囲を超えて本件自賠金に相当する額を控除することはできないというべきである。

(2) なお、被上告人の損害賠償債務は、本件事故の日に発生し、かつ、何らの催告を要することなく、遅滞に陥ったものであるところ（最高裁昭和34年（オ）第117号同37年9月4日第三小法廷判決・民集16巻9号1834頁参照），自賠責保険から損害賠償額の支払として受領した金員が支払時における損害金の元本及び遅延損害金の全部を消滅させるに足りないときは、遅延損害金の支払債務にまず充当されるべきものであり（最高裁平成16年（受）第525号同年12月20日第二小法廷判決・裁判集民事215号987頁参照），上告人が自賠責保険から後遺障害による損害賠償額の支払として受領した金員について、本件事故の日からその支払日までの上告人の損害金元本に対する遅延損害金に充当することが否定される理由はない。

5. 以上と異なる原審の判断には、判決に影響を及ぼすことが明らかな法令の違反がある。論旨はこの趣旨をいうものとして理由がある。

そして、前記事実関係等及び上記4に説示したところによれば、156万3978円（弁護士費用相当額14万円を含む。）及びうち140万7804円に対する本件支払金の支払日の翌日である平成30年5月31日から、うち14万円に対する不法行為の日である平成29年4月25日から各支払済みまで年5分の割合による遅延損害金の支払を求める上告人の請求は、理由があるから、原判決を主文第1項のとおり変更することとする。

よって、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。

（裁判長裁判官 安浪亮介 裁判官 山口 厚 裁判官 深山卓也 裁判官 岡 正晶 裁判官 堀 徹）

最高裁判所判例要旨

民事

- 不法行為に基づく損害賠償債務の遅延損害金を民法405条の適用又は類推適用により元本に組み入れることの可否

令和2年(受)第1518号
令4・1・18三小判棄却
民集76巻1号本誌1783号

不法行為に基づく損害賠償債務の遅延損害金は、民法405条の適用又は類推適用により元本に組み入れることはできない。

- 離婚に伴う慰謝料として夫婦の一方が負担すべき損害賠償債務が履行遅滞となる時期

令和2年(受)第1765号
令4・1・28二小判一部破棄自判、一部棄却、一部却下
民集76巻1号本誌1784号

離婚に伴う慰謝料として夫婦の一方が負担すべき損害賠償債務は、離婚の成立時に遅滞に陥る。

刑事

- 1 刑法168条の2第1項にいう「その意図に沿うべき動作をさせず、又はその意図に反する動作をさせるべき不正な指令を与える電磁的記録」に当たるか否かの判断方法

- 2 ウェブサイトの閲覧者の同意を得ることなくその電子計算機を使用して仮想通貨のマイニングを行わせるプログラムコードが不正指令電磁的記録に当たらないとされた事例

令和2年(あ)第457号
令4・1・20一小判破棄自判
刑集76巻1号本誌1784号

- 1 刑法168条の2第1項の反意図性(「その意図に沿うべき動作をさせず、又はその意図に反する動作をさせるべき」という要件)は、当該プログラムについて一般の使用者が認識すべき動作と実際の動作が異なる場合に肯定されるものと解する

のが相当であり、一般の使用者が認識すべき動作の認定に当たっては、当該プログラムの動作の内容に加え、プログラムに付された名称、動作に関する説明の内容、想定される当該プログラムの利用方法等を考慮する必要があり、同項の不正性

(「不正な」という要件)は、電子計算機による情報処理に対する社会一般の信頼を保護し、電子計算機の社会的機能を保護するという観点から、社会的に許容し得ないプログラムについて肯定されるものと解するのが相当であり、その判断に当たっては、当該プログラムの動作の内容に加え、その動作が電子計算機の機能や電子計算機による情報処理に与える影響の有無・程度、当該プログラムの利用方法等を考慮する必要がある。

- 2 ウェブサイトの閲覧者の同意を得ることなくその電子計算機を使用して仮想通貨のマイニングを行わせるプログラムコードは、(1)ウェブサイトの収益方法として閲覧者の電子計算機にマイニングを行わせるという仕組みは一般の使用者に認知されていなかつたことなどの判示の事情(判文参照)の下では、その動作を一般の使用者が認識すべきとはいはず、刑法168条の2第1項の反意図性(「その意図に沿うべき動作をさせず、又はその意図に反する動作をさせるべき」という要件)が認められるが、(2)①その動作が閲覧者の電子計算機の機能等に与える影響は、閲覧中に中央処理装置を一定程度使用することにとどまり、その程度も、消費電力が若干増加したり処理速度が遅くなったりするが、閲覧者がその変化に気付くほどのものではなかつたこと、②ウェブサイトの運営者が閲覧を通じて利益を得る仕組みは、ウェブサイトによる情報の流通にとって重要であるところ、同プログラムコードはそのような収益の仕組みとして利用されたものである上、そのような仕組みとして社会的に受容されている広告表示プログラムと比較しても、閲覧者の電子計算機の機能等に与える影響に有意な差異はなく、利用方法等も同様であつて、これらの点は社会的に許容し得る範囲内といえることなどの判示の事情(判文参照)の下では、社会的に許容し得ないものとはいはず、同項の不正性(「不正な」という要件)は認められないため、不正指令電磁的記録とは認められない。

資料

◎令和4年度予算について

令和4年度予算は、案のとおり成立しました（令和4年3月22日）。

また、その概要は、本誌第1782号（1月15日付け、2ページ）に掲載されたとおりです。

記事

◎人事異動

松戸簡易裁判所判事
堺簡易裁判所判事
一宮簡易裁判所判事
東京地方裁判所判事
長野地方・家庭裁判所松本支部判事
東京地方裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所判事補
同
静岡地方・家庭裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所川崎支部判事補
甲府地方・家庭裁判所判事補
東京地方裁判所判事補
大阪地方・家庭裁判所判事補
京都地方・家庭裁判所判事補
千葉地方・家庭裁判所松戸支部判事補
京都地方・家庭裁判所判事補
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補
神戸地方・家庭裁判所判事補
東京地方裁判所判事補
神戸地方・家庭裁判所判事補
東京家庭裁判所判事補
名古屋地方裁判所判事補
札幌地方裁判所判事補
名古屋地方・家庭裁判所判事補
千葉地方・家庭裁判所判事補
名古屋地方・家庭裁判所一宮支部判事
補
東京地方裁判所判事補
広島地方・家庭裁判所判事補
東京地方・家庭裁判所立川支部判事補
福岡地方・家庭裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所川崎支部判事補
長崎地方・家庭裁判所判事補

野山 宏	大阪地方裁判所判事補 那覇地方・家庭裁判所判事補 東京地方裁判所判事補 仙台地方・家庭裁判所判事補 旭川地方・家庭裁判所判事補 古河簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 麻生簡易裁判所判事 桐生簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 藤岡簡易裁判所判事兼群馬富岡簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 松山簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 岡山簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 新潟簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 沼津簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 福岡簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 函館簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 村上簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 神奈川簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 藤沢簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 沼田簡易裁判所判事兼中之条簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 水戸簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 松戸簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 日向簡易裁判所判事兼延岡簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 洲本簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 湯沢簡易裁判所判事兼横手簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 川崎簡易裁判所判事 八王子簡易裁判所判事 東京簡易裁判所判事 立川簡易裁判所判事	進藤 諭 金澤 康 袋井泰輔 青山恵一 飯野忠雄 五十嵐利幸 遠藤康浩 大角文之 大田浩司 金子益之 近藤重信 末松宏之 菅原寛史 土屋靖明 都甲昌弘 中山仰二 長谷川浩一 原 宗鑑 堀井 律 森 齊一 森田芳久 森本暁史 瀬尾豊治 白石 哲
松田 亨		
堀内 満		
渡邊裕美		
金井優憲		
鈴木章太郎		
中市達也		
田中春香		
楠本康太		
鵜飼奈美		
牛島 賢		
小林 薫		
宮村開人		
和賀千紘		
高橋祐二		
上野瑞穂		
菅野裕希		
大西優太		
松本恭平		

足利簡易裁判所判事		名古屋簡易裁判所判事	
青梅簡易裁判所判事	竹内 宏	沼津簡易裁判所判事	青木 誠
東京簡易裁判所判事		岐阜簡易裁判所判事兼御嵩簡易裁判所判事	
横浜簡易裁判所判事	八木澤秀司	富士簡易裁判所判事	海老澤俊一
立川簡易裁判所判事		八王子簡易裁判所判事	
神奈川簡易裁判所判事	鈴木秀夫	富士吉田簡易裁判所判事兼都留簡易裁判所判事	平嶋洋一
姫路簡易裁判所判事		青梅簡易裁判所判事	
川崎簡易裁判所判事	岩川 昇	新潟簡易裁判所判事	柳谷守昭
柏崎簡易裁判所判事兼長岡簡易裁判所判事		宇都宮簡易裁判所判事	山本 亨
藤沢簡易裁判所判事	西川政治	村上簡易裁判所判事	小畠法子
東京簡易裁判所判事		福井簡易裁判所判事	
相模原簡易裁判所判事	三輪 泉	柏崎簡易裁判所判事兼長岡簡易裁判所判事	秋田正之
市川簡易裁判所判事		豊岡簡易裁判所判事兼浜坂簡易裁判所判事	
さいたま簡易裁判所判事	佐塚一寿	大阪簡易裁判所判事	岡平耕治
立川簡易裁判所判事		広島簡易裁判所判事	小林幹典
越谷簡易裁判所判事	持地 明	大阪簡易裁判所判事	佐藤有司
東京簡易裁判所判事		姫路簡易裁判所判事	
佐倉簡易裁判所判事	高田和夫	大阪簡易裁判所判事	嶋村修士
同	脇本道治	名古屋簡易裁判所判事	
室蘭簡易裁判所判事兼伊達簡易裁判所判事		大阪簡易裁判所判事	西森公治
松戸簡易裁判所判事	安藤啓正	和歌山簡易裁判所判事兼橋本簡易裁判所判事	
横浜簡易裁判所判事		大阪簡易裁判所判事	長谷川卓司
松戸簡易裁判所判事	古賀徳秀	社簡易裁判所判事	
富士吉田簡易裁判所判事兼都留簡易裁判所判事		大阪簡易裁判所判事	山崎智弘
松戸簡易裁判所判事	福本智公	姫路簡易裁判所判事	
越谷簡易裁判所判事		大阪簡易裁判所判事	立川唱寛
市川簡易裁判所判事	宮川雅男	富田林簡易裁判所判事	苅谷 誠
東京簡易裁判所判事		甲賀簡易裁判所判事	
水戸簡易裁判所判事	江川智津乃	右京簡易裁判所判事	岸本将嗣
麻生簡易裁判所判事	佐藤伸二	大阪簡易裁判所判事	
古河簡易裁判所判事	園部 厚	神戸簡易裁判所判事	水野和雄
佐倉簡易裁判所判事		姫路簡易裁判所判事	岩曾 靖
宇都宮簡易裁判所判事	及川節子	東京簡易裁判所判事	
東京簡易裁判所判事		姫路簡易裁判所判事	保田将司
足利簡易裁判所判事	佐藤雅史	大阪簡易裁判所判事	
大津簡易裁判所判事兼高島簡易裁判所判事		加古川簡易裁判所判事	小林勘一郎
桐生簡易裁判所判事	松本隆英	社簡易裁判所判事	和田一臣
相模原簡易裁判所判事		龍野簡易裁判所判事	朝田和男
沼田簡易裁判所判事兼中之条簡易裁判所判事	室岡克也	右京簡易裁判所判事	
静岡簡易裁判所判事	福岡俊明	豊岡簡易裁判所判事兼浜坂簡易裁判所判事	
三島簡易裁判所判事	北村幸次	神戸簡易裁判所判事	村田昌三
清水簡易裁判所判事	西澤光男	洲本簡易裁判所判事	
清水簡易裁判所判事			山田 誠
三島簡易裁判所判事	奥石武裕		

大阪簡易裁判所判事		中津川簡易裁判所判事兼多治見簡易裁判所判事	
大津簡易裁判所判事兼高島簡易裁判所判事	谷川佳史	福井簡易裁判所判事	熊野浩靖
甲賀簡易裁判所判事	西村実信	東京簡易裁判所判事	坂下克也
徳島簡易裁判所判事	飼馬淳二	金沢簡易裁判所判事	平鍋 勝
東近江簡易裁判所判事	山田倫明	高岡簡易裁判所判事	
金沢簡易裁判所判事		大竹簡易裁判所判事兼広島簡易裁判所判事	
長浜簡易裁判所判事		広島簡易裁判所判事兼大竹簡易裁判所判事	澤 実
大阪簡易裁判所判事		船木簡易裁判所判事兼宇部簡易裁判所判事	
和歌山簡易裁判所判事兼橋本簡易裁判所判事	藤田康夫	広島簡易裁判所判事	三津川昇
津島簡易裁判所判事	小川達夫	大隅簡易裁判所判事	宮崎智英
名古屋簡易裁判所判事	梶本宜孝	広島簡易裁判所判事	矢野靖人
安城簡易裁判所判事	佐々木憲	富田林簡易裁判所判事	
名古屋簡易裁判所判事	柴田和也	広島簡易裁判所判事	
新城簡易裁判所判事	竹本義昭	竹原簡易裁判所判事兼吳簡易裁判所判事	
名古屋簡易裁判所判事	廣田昭彦	吳簡易裁判所判事兼竹原簡易裁判所判事	小林幹典
豊橋簡易裁判所判事	松田誠司	岡山簡易裁判所判事	土井久志
名古屋簡易裁判所判事	村田眞英	防府簡易裁判所判事	
京都簡易裁判所判事	宮下裕章	防府簡易裁判所判事	
名古屋簡易裁判所判事	伊藤慶孝	船木簡易裁判所判事兼宇部簡易裁判所判事	西岡雅和
富士簡易裁判所判事	佐野寛次	津山簡易裁判所判事	池田 誠
名古屋簡易裁判所判事	立川 忠	岡山簡易裁判所判事	高田晃由
東近江簡易裁判所判事	揖斐 潔	鳥取簡易裁判所判事	
名古屋簡易裁判所判事	紀平和成	岡山簡易裁判所判事	
静岡簡易裁判所判事	山下雅資	児島簡易裁判所判事兼玉島簡易裁判所判事	萩原高徳
名古屋簡易裁判所判事	永井俊男	大阪簡易裁判所判事	
一宮簡易裁判所判事		新見簡易裁判所判事兼高梁簡易裁判所判事	川副勝巳
東京簡易裁判所判事		児島簡易裁判所判事兼玉島簡易裁判所判事	
半田簡易裁判所判事		津山簡易裁判所判事	藤田満弘
名古屋簡易裁判所判事		広島簡易裁判所判事	
安城簡易裁判所判事		鳥取簡易裁判所判事	持田吉公
豊橋簡易裁判所判事		沖縄簡易裁判所判事	
大垣簡易裁判所判事		福岡簡易裁判所判事	有留晋吾
新城簡易裁判所判事		飯塚簡易裁判所判事	
大阪簡易裁判所判事		福岡簡易裁判所判事	石藏桂子
伊賀簡易裁判所判事		大分簡易裁判所判事	
長浜簡易裁判所判事		福岡簡易裁判所判事	江頭 誠
四日市簡易裁判所判事		熊本簡易裁判所判事	
名古屋簡易裁判所判事		福岡簡易裁判所判事	中島隆介
岐阜簡易裁判所判事兼御嵩簡易裁判所判事	岩原 寛	沖縄簡易裁判所判事	
大垣簡易裁判所判事	市川幸司	飯塚簡易裁判所判事	江藤俊彦
四日市簡易裁判所判事			
中津川簡易裁判所判事兼多治見簡易裁判所判事	高木弘太郎		

大牟田簡易裁判所判事		瀬戸口洋治	仙台簡易裁判所判事		
折尾簡易裁判所判事			盛岡簡易裁判所判事		佐藤 満
福岡簡易裁判所判事			佐倉簡易裁判所判事		
うきは簡易裁判所判事兼久留米簡易裁判所判事			釜石簡易裁判所判事		長嶺陽一
壱岐簡易裁判所判事	本田 稔		東京簡易裁判所判事		
大牟田簡易裁判所判事		福原光晴	秋田簡易裁判所判事兼男鹿簡易裁判所判事		鳴 悟
大分簡易裁判所判事		上甲俊夫	湯沢簡易裁判所判事兼横手簡易裁判所判事		
行橋簡易裁判所判事			仙台簡易裁判所判事		三井憲人
大阪簡易裁判所判事		菅 浩次	青森簡易裁判所判事		菅野清邦
諫早簡易裁判所判事		伊葉匡功	鰺ヶ沢簡易裁判所判事兼弘前簡易裁判所判事		
壱岐簡易裁判所判事		岸和田羊一	鰺ヶ沢簡易裁判所判事		畠山純一
福岡簡易裁判所判事			網走簡易裁判所判事		
大分簡易裁判所判事		三城芳子	札幌簡易裁判所判事		井田久敏
行橋簡易裁判所判事			函館簡易裁判所判事		
大分簡易裁判所判事		池尻修三	札幌簡易裁判所判事		片倉 紖
大阪簡易裁判所判事			帶広簡易裁判所判事兼本別簡易裁判所判事		
日田簡易裁判所判事		橋辺隆司	札幌簡易裁判所判事		狩原 元
日田簡易裁判所判事			苫小牧簡易裁判所判事		
臼杵簡易裁判所判事		川崎 覚	札幌簡易裁判所判事		北山裕之
諫早簡易裁判所判事			留萌簡易裁判所判事		
熊本簡易裁判所判事		町田政弘	札幌簡易裁判所判事		笹谷 敏
うきは簡易裁判所判事兼久留米簡易裁判所判事		山本美奈代	浦河簡易裁判所判事兼静内簡易裁判所判事		
伊集院簡易裁判所判事			札幌簡易裁判所判事		本田貞美
大阪簡易裁判所判事		高山正之	室蘭簡易裁判所判事兼伊達簡易裁判所判事		
大隅簡易裁判所判事			釧路簡易裁判所判事兼標津簡易裁判所判事		鹿島章一
折尾簡易裁判所判事		大島洋一	苫小牧簡易裁判所判事		
知覧簡易裁判所判事兼加世田簡易裁判所判事			東京簡易裁判所判事		木村泰博
伊集院簡易裁判所判事		吉岡俊一	浦河簡易裁判所判事兼静内簡易裁判所判事		
大阪簡易裁判所判事			札幌簡易裁判所判事		佐々木敬子
大隅簡易裁判所判事		仲村俊一	函館簡易裁判所判事		
折尾簡易裁判所判事			深川簡易裁判所判事兼旭川簡易裁判所判事		鈴木浩二
知覧簡易裁判所判事兼加世田簡易裁判所判事		片山武志	旭川簡易裁判所判事		
臼杵簡易裁判所判事			札幌簡易裁判所判事		
日向簡易裁判所判事兼延岡簡易裁判所判事		山之口忠	深川簡易裁判所判事兼旭川簡易裁判所判事		
福岡簡易裁判所判事			旭川簡易裁判所判事		紺野陽一
那霸簡易裁判所判事		今野敏幸	札幌簡易裁判所判事		
沖縄簡易裁判所判事			深川簡易裁判所判事兼旭川簡易裁判所判事		
伊集院簡易裁判所判事		佐藤真人	判事		木村年行
沖縄簡易裁判所判事			留萌簡易裁判所判事		小川正幸
秋田簡易裁判所判事兼男鹿簡易裁判所判事		相馬正彦	釧路簡易裁判所判事兼標津簡易裁判所判事		
仙台簡易裁判所判事			判事		津幡恭行
盛岡簡易裁判所判事		新岡 剛			
仙台簡易裁判所判事					
青森簡易裁判所判事					
仙台簡易裁判所判事					
松戸簡易裁判所判事					
仙台簡易裁判所判事					

帯広簡易裁判所判事		任期終了退官	
帯広簡易裁判所判事兼本別簡易裁判所判事	二本柳聰	さいたま地方・家庭裁判所判事	目黒大輔
東京簡易裁判所判事	村上啓司	依願退官	
帯広簡易裁判所判事	齋藤祐仁	東京地方裁判所判事	櫻井 進
旭川簡易裁判所判事		同	
網走簡易裁判所判事		(退官後預金保険機構)	齊藤 敦
新見簡易裁判所判事兼高梁簡易裁判所判事	岩佐君雄	同	
高松簡易裁判所判事	大西 光	(退官後預金保険機構)	渡邊裕美
龍野簡易裁判所判事	菅 正俊	さいたま家庭・地方裁判所熊谷支部判事	
高松簡易裁判所判事	吉田 肇	事	山口信恭
高松簡易裁判所判事	黒河 誠	千葉地方・家庭裁判所判事	松長一太
高松簡易裁判所判事兼土庄簡易裁判所判事	北川直登	大阪高等裁判所判事	杉浦徳宏
高知簡易裁判所判事	宮川 隆	名古屋地方裁判所判事	齋藤千恵
八幡浜簡易裁判所判事兼宇和島簡易裁判所判事兼松山簡易裁判所判事	渡部壽夫	名古屋地方・家庭裁判所一宮支部判事	杉村鎮右
松山簡易裁判所判事	(以上 3月 25日)	高松高等裁判所判事	上寺 誠
大阪簡易裁判所判事	櫻井 進	事務総局総務局付	
八幡浜簡易裁判所判事兼宇和島簡易裁判所判事兼松山簡易裁判所判事	武野康代	(退官後国立国会図書館)	楠山喬正
定年退官	(以上 3月 30日)	事務総局家庭局付	
広島簡易裁判所判事	大門 全	(退官後在カナダ日本国大使館)	川淵達也
東京地方裁判所判事	中村公大	東京地方裁判所判事補	崎川静香
依願退官	新井一太郎	同	安井亜季
福岡家庭・地方裁判所小倉支部判事	青木正人	(退官後衆議院法制局)	
東京地方裁判所判事補	長野慶一郎	東京地方・家庭裁判所立川支部判事補	菅野裕希
大阪家庭裁判所判事補	坂口健治	同	上木英典
那覇地方・家庭裁判所沖縄支部判事補	齊藤博法	神戸地方・家庭裁判所判事補	大木 峻
仙台家庭・地方裁判所古川支部判事補		富山地方・家庭裁判所判事補	板崎 遼
横浜簡易裁判所判事	徳永薰子	佐賀地方・家庭裁判所判事補	岡本健太朗
東京簡易裁判所判事	黒木正弘	鹿児島地方・家庭裁判所判事補	鷹城雄一郎
四国中央簡易裁判所判事兼西条簡易裁判所判事	小田 剛	東京簡易裁判所判事	加藤伸明
東京簡易裁判所判事		横浜簡易裁判所判事	高野篤雄
平戸簡易裁判所判事		平戸簡易裁判所判事	小俣五三巳
直方簡易裁判所判事		四国中央簡易裁判所判事兼西条簡易裁判所判事	久保正志
直方簡易裁判所判事		定年退職	
小倉簡易裁判所判事		最高裁判所図書館副館長	井上壽志
伊万里簡易裁判所判事		最高裁判所図書館整理課長	助川政浩
伊万里簡易裁判所判事		東京地方裁判所民事次席書記官	藤光幹徳
鹿島簡易裁判所判事		東京簡易裁判所民事首席書記官	弥永幸男
鹿島簡易裁判所判事		東京第二検察審査会事務局長	毛利芳英
福岡簡易裁判所判事		東京第四検察審査会事務局長	長嶋和弥

千葉地方裁判所事務局長	今井金也	福岡地方裁判所刑事首席書記官	本多信也
千葉第一検察審査会事務局長	岡田修一	福岡第二検察審査会事務局長	東條幸雄
千葉第二検察審査会事務局長	平川克彦	長崎地方裁判所刑事次席書記官	今村恵一
水戸地方裁判所事務局長	小松且昌	長崎地方裁判所事務局長	日野誠一
宇都宮地方裁判所民事首席書記官	植松明夫	大分地方裁判所刑事首席書記官	渡辺重徳
前橋地方裁判所民事首席書記官	登坂なほ子	大分地方裁判所事務局次長	木崎 登
静岡地方裁判所民事首席書記官	中山一広	大分検察審査会事務局長	三浦貴紀
静岡地方裁判所民事次席書記官	宮崎路子	熊本地方裁判所刑事次席書記官	山田美佐
静岡検察審査会事務局長	星野雅彦	熊本検察審査会事務局長	泉 達也
長野検察審査会事務局長	塩野茂実	鹿児島地方裁判所刑事首席書記官	東條博喜
新潟検察審査会事務局長	小林和佳	宮崎地方裁判所刑事次席書記官	後藤由紀夫
東京家庭裁判所家事首席書記官	福本 修	那霸地方裁判所事務局長	吉竹弘任
さいたま家庭裁判所家事首席書記官	池田 友	那霸検察審査会事務局長	荒井憲治
さいたま家庭裁判所少年首席書記官	細谷弘治	長崎家庭裁判所事務局次長	荒巻 賢
さいたま家庭裁判所事務局長	高橋伸生	熊本家庭裁判所事務局長	河野啓介
千葉家庭裁判所家事首席書記官	大野正明	那霸家庭裁判所事務局長	粟村仁美
宇都宮家庭裁判所首席書記官	新井弘明	仙台高等裁判所民事首席書記官	井筒 徹
前橋家庭裁判所首席書記官	高橋 潔	仙台地方裁判所民事首席書記官	伊藤茂勝
大阪高等裁判所民事首席書記官	藤井 徹	仙台地方裁判所総括主任書記官	池田英樹
大阪地方裁判所民事首席書記官	林誠治郎	仙台検察審査会事務局長	三浦 央
大阪地方裁判所民事次席書記官	中村邦彦	福島地方裁判所民事首席書記官	柴山 昇
大阪簡易裁判所首席書記官	花田善文	福島地方裁判所刑事次席書記官	宍戸 真
大阪第二検察審査会事務局長	濱松稔也	山形地方裁判所民事首席書記官	鈴木正俊
京都地方裁判所民事首席書記官	前田利範	山形検察審査会事務局長	渡部 徹
京都地方裁判所民事次席書記官	渡邊晋作	秋田地方裁判所刑事首席書記官	齋藤 均
京都地方裁判所総括主任書記官	吉田浩一	青森地方裁判所刑事次席書記官	鈴木徳夫
京都第二検察審査会事務局長	森 正弘	青森検察審査会事務局長	越後誠司
奈良地方裁判所民事首席書記官	福島広之	仙台家庭裁判所首席書記官	鎌田正久
奈良地方裁判所事務局次長	佐藤敬郎	青森家庭裁判所首席書記官	今井政一
大津地方裁判所民事首席書記官	大田恵朗	青森家庭裁判所事務局次長	保田浩一郎
大阪家庭裁判所少年首席書記官	西村 馨	札幌高等裁判所民事首席書記官	村上奉文
神戸家庭裁判所家事首席書記官	堀 正博	札幌簡易裁判所首席書記官兼札幌地方	
名古屋地方裁判所民事次席書記官	藤田一治	裁判所民事次席書記官兼札幌地方裁判	
名古屋地方裁判所総括主任書記官	矢野 均	所刑事次席書記官	
津検察審査会事務局長	柴田秀明	札幌検察審査会事務局長	土屋賢吾
岐阜地方裁判所民事首席書記官	横井 剛	旭川地方裁判所刑事首席書記官	横谷正博
岐阜地方裁判所刑事首席書記官	三好浩一	高松高等裁判所民事首席書記官	尾谷公孝
岐阜地方裁判所刑事次席書記官	高野 淨	高松地方裁判所民事首席書記官	山崎 晃
金沢地方裁判所刑事首席書記官	岡林和彦	高松地方裁判所刑事次席書記官	高見和昭
金沢検察審査会事務局長	樋田勝彦	高松検察審査会事務局長	野中俊宏
富山地方裁判所事務局長	河合 進	徳島地方裁判所刑事首席書記官	貞廣博文
岐阜家庭裁判所事務局長	榎原 明	松山地方裁判所事務局長	川村 哲
金沢家庭裁判所事務局長	永井圭子	高松家庭裁判所首席書記官	近藤英彰
広島地方裁判所民事次席書記官	國本敦子	高知家庭裁判所事務局長	小西孝雄
広島第一検察審査会事務局長	田河 出	松山家庭裁判所首席書記官	松井隆樹
山口地方裁判所民事首席書記官	宮前晃照	東京家庭裁判所総括主任家庭裁判所調	山崎健次
山口検察審査会事務局長	古川忠男	査官	加藤督徳
岡山検察審査会事務局長	足立康雄	横浜家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	古瀬友子
松江家庭裁判所首席書記官	石川 厚	さいたま家庭裁判所首席家庭裁判所調	
福岡地方裁判所民事次席書記官	今福正己	査官	

千葉家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	中島幸治	大阪高等裁判所判事	宮崎朋紀
静岡家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	秋元卓雄	最高裁判所調査官	
甲府家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	井上敬子	東京高等裁判所判事	家原尚秀
新潟家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	久代佳正	最高裁判所調査官	
京都家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	大杉文子	東京地方裁判所判事	池田知史
京都家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	木村晶江	最高裁判所調査官	
神戸家庭裁判所尼崎支部総括主任家庭裁判所調査官	津山住子	同	笹本哲朗
奈良家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	大杉充弘	同	大竹敬人
和歌山家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	畔上早月	東京高等裁判所判事	高瀬保守
名古屋家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	増田幹生	最高裁判所調査官	貝阿彌亮
岐阜家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	新美顕文	東京地方裁判所判事	森川さつき
福井家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	勝田和枝	最高裁判所調査官	
福井家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	信田 肇	那霸地方・家庭裁判所判事	大橋弘治
富山家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	北林 悟	東京地方裁判所判事	赤松亨太
広島家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	木村陽介	同	石田明彦
山口家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	守安 匠	東京高等裁判所判事	松永智史
山口家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	柿澤秀樹	東京地方裁判所判事	網田圭亮
鳥取家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	六浦祐樹	同	高橋祐喜
福岡家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	中澤 智	東京高等裁判所判事	吉野俊太郎
佐賀家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	古野恵子	東京地方裁判所判事	釜村健太
長崎家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	木村耕一郎	事務総局秘書課参事官	和田山弘剛
熊本家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	吉川昌範	事務総局秘書課参事官	片瀬 亮
鹿児島家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	山本幸一	札幌高等裁判所判事	井出正弘
仙台家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	藤川 浩	事務総局秘書課付	吉元祥太郎
山形家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	佐藤利明	事務総局民事局付	
秋田家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	織田三郎	事務総局情報政策課情報セキュリティ室	内田 暁
青森家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	佐藤卓代	長兼情報政策課参事官兼総務局参事官	
釧路家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	宮崎浩幸	事務総局情報政策課情報セキュリティ室長兼参事官	
辞職	久保田正人	事務総局総務局参事官兼情報政策課参事官	
千葉地方裁判所民事次席書記官	岩城雅人	兼民事局参事官兼刑事局参事官兼家庭局参事官	
富山地方裁判所刑事首席書記官	茂原啓示	事務総局情報政策課参事官兼民事局参事官	内田哲也
広島高等裁判所民事首席書記官	岩崎正彦	事務総局民事局付兼総務局付	
広島家庭裁判所事務局長	下地敬三	事務総局情報政策課付兼民事局付	小野啓介
広島家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	古積辰次郎	事務総局総務局付兼情報政策課付兼民事局付	
札幌家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	(以上3月31日)	事務総局民事局付兼家庭局付	
東京地方裁判所判事	大須賀寛之	事務総局情報政策課付兼民事局付	菅 洋輝
事務総局秘書課長兼広報課長	板津正道	事務総局民事局付兼総務局付	
事務総局秘書課長兼広報課長	杜下弘記	事務総局情報政策課付兼民事局付	西澤瑞人
名古屋地方裁判所判事	染谷武宣	事務総局情報政策課付兼総務局付	
東京地方裁判所判事	伊藤ゆう子	東京地方裁判所判事補	高津戸拓也
事務総局情報政策課長		事務総局総務局参事官兼情報政策課参事官	
事務総局審議官兼情報政策課長		事務総局総務局参事官	清藤健一
事務総局審議官			
東京高等裁判所判事			
最高裁判所調査官			

同	西岡慶記	同	本村理絵
大阪地方裁判所判事		事務総局行政局付	
事務総局総務局付	直江泰輝	那霸地方・家庭裁判所判事補	浅江貴光
事務総局総務局付兼情報政策課付		東京地方裁判所判事	
事務総局総務局付	中嶋邦人	事務総局家庭局付	塩田良介
大阪地方裁判所判事		同	松原経正
事務総局総務局付	村上貴昭	事務総局家庭局付兼総務局付	
事務総局総務局付兼情報政策課付		事務総局家庭局付	山中仁美
新潟地方・家庭裁判所佐渡支部判事	鈴木友一	免事務総局家庭局付	
事務総局総務局付		事務総局家庭局付	手塚隆成
鹿児島地方・家庭裁判所判事	近藤貴浩	事務総局家庭局付	
新潟地方・家庭裁判所判事補	植木 亮	東京地方裁判所判事	生田大輔
免事務総局人事局付		金沢地方・家庭裁判所判事	佐野尚也
事務総局人事局付	大久保陽久	東京地方裁判所判事	
東京高等裁判所判事		司法研修所教官	岡崎克彦
事務総局経理局総務課長	榎本光宏	同	香川徹也
事務総局経理局総務課長		那霸地方・家庭裁判所平良支部判事	
大阪高等裁判所判事	松川充康	司法研修所付	遠藤安希歩
東京地方裁判所判事		司法研修所教官	
事務総局民事局付	武見敬太郎	東京地方裁判所判事	三輪方大
同	野口晶寛	札幌地方裁判所判事	中川正隆
同	西澤健太郎	司法研修所付	
免事務総局民事局付		東京地方裁判所判事	高部祐未
事務総局民事局付	山田将之	東京地方裁判所判事	
事務総局民事局付		裁判所職員総合研修所教官	中井彩子
東京地方裁判所判事	國原徳太郎	福岡地方・家庭裁判所判事	
事務総局民事局付兼総務局付		裁判所職員総合研修所教官	志田健太郎
横浜地方・家庭裁判所判事	秋田 純	旭川家庭・地方裁判所判事	瀬沼美貴
事務総局民事局付		大阪地方・家庭裁判所判事	岩田康平
那霸家庭・地方裁判所沖縄支部判事補	池本拓馬	東京高等裁判所判事	東亜由美
東京地方・家庭裁判所判事補	森沙恵子	千葉地方裁判所判事	
東京地方裁判所判事		東京高等裁判所判事	上岡哲生
事務総局刑事局付	賀嶋 敦	東京高等裁判所判事	菊池憲久
同	高嶋 諒	さいたま地方・家庭裁判所判事	
札幌家庭・地方裁判所判事		東京高等裁判所判事	中久保朱美
事務総局刑事局付	鎌田咲子	東京高等裁判所判事	西 理香
事務総局刑事局付兼総務局付		甲府地方・家庭裁判所判事	
事務総局刑事局付	藤井俊彦	東京高等裁判所判事	新田和憲
免事務総局刑事局付		宇都宮家庭・地方裁判所判事	
事務総局刑事局付	牧野一成	東京高等裁判所判事	朝倉亮子
同	山井翔平	前橋地方・家庭裁判所判事	
事務総局刑事局付		東京高等裁判所判事	板野俊哉
福島地方・家庭裁判所いわき支部判事	小川一希	熊本地方・家庭裁判所判事	
東京地方裁判所判事	佐々木淑江	東京高等裁判所判事	品川英基
大阪地方・家庭裁判所判事	日高真悟	大阪地方裁判所判事	
東京地方裁判所判事補	坂本 桃	東京高等裁判所判事	小川嘉基
大阪地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	
事務総局行政局付	奥田達生	東京高等裁判所判事	蛯原 意
免事務総局行政局付		同	鎌倉正和
事務総局行政局付	吉岡知紀		

東京高等裁判所判事	坂本康博	甲府地方・家庭裁判所判事	三上 潤
東京地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	
東京高等裁判所判事	中島 崇	水戸家庭・地方裁判所土浦支部判事	岡田紀彦
水戸地方・家庭裁判所判事		東京地方裁判所判事	
東京高等裁判所判事	村山智英	静岡地方・家庭裁判所浜松支部判事	佐藤 卓
横浜地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	
東京高等裁判所判事	小泉満理子	東京高等裁判所判事	田中正哉
東京地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	五十嵐浩介
東京高等裁判所判事	村田一広	同	石田憲一
同	渡邊達之輔	同	
札幌地方・家庭裁判所判事		福井家庭・地方裁判所判事	
東京高等裁判所判事	新宅孝昭	東京地方裁判所判事	佐藤康平
大阪高等裁判所判事		東京高等裁判所判事	
知的財産高等裁判所判事	上田卓哉	東京地方裁判所判事	西村真人
千葉地方裁判所判事	小林康彦	千葉地方・家庭裁判所松戸支部判事	中 直也
知的財産高等裁判所判事		東京地方裁判所判事	
さいたま地方・家庭裁判所判事	市川多美子	さいたま地方・家庭裁判所判事	小沼日加利
東京地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	
東京高等裁判所判事	榎井英夫	前橋家庭・地方裁判所判事	多田尚史
東京地方裁判所判事	松田典浩	東京地方裁判所判事	神吉康二
同		釧路地方・家庭裁判所北見支部長	
横浜地方裁判所判事	西野吾一	東京地方裁判所判事	渡邊 哲
東京地方裁判所判事		さいたま家庭・地方裁判所熊谷支部判事	
東京高等裁判所判事	田中孝一	東京地方裁判所判事	齊藤 学
東京地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	下山久美子
千葉地方・家庭裁判所判事	品川しのぶ	静岡地方・家庭裁判所判事	
東京地方裁判所判事	大浜寿美	東京地方裁判所判事	杉森洋平
広島地方・家庭裁判所判事	金久保茂	東京地方裁判所判事	高田美紗子
東京地方裁判所判事		青森地方・家庭裁判所八戸支部長	
福岡地方・家庭裁判所判事	上村考由	東京地方裁判所判事	内藤和道
東京地方裁判所判事		札幌地方・家庭裁判所判事	中西 永
東京高等裁判所判事	菊池浩也	東京地方裁判所判事	
東京地方裁判所判事	剣持淳子	金沢地方・家庭裁判所判事	松下絵美
宇都宮地方・家庭裁判所判事	瀧岡俊文	東京地方裁判所判事	松浪聖一
東京地方裁判所判事		青森地方・家庭裁判所弘前支部長	
東京高等裁判所判事	武藤貴明	東京地方裁判所判事	青野卓也
東京地方裁判所判事	五十嵐章裕	さいたま地方・家庭裁判所川越支部判事	
名古屋地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	飯塚素直
東京地方裁判所判事	小田真治	広島高等裁判所判事	
宇都宮地方・家庭裁判所判事		東京地方裁判所判事	家入美香
東京地方裁判所判事	下澤良太	新潟地方・家庭裁判所長岡支部判事	
東京高等裁判所判事		東京地方裁判所判事	猪坂 剛
東京地方裁判所判事	林 史高	仙台高等裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	鈴木綱平
東京地方裁判所判事	野澤晃一	神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事	
札幌家庭裁判所判事		東京地方裁判所判事	高山 慎
東京地方裁判所判事		名古屋地方裁判所判事	
福岡地方・家庭裁判所判事		東京地方裁判所判事	棚井 啓
東京地方裁判所判事			
静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事			
東京地方裁判所判事			

同	山岸秀彬	同	景山太郎
東京地方裁判所判事	伊藤孝至	さいたま家庭・地方裁判所越谷支部判事	
千葉家庭・地方裁判所判事	今村あゆみ	横浜地方裁判所判事	増永謙一郎
東京地方裁判所判事	植田類	新潟地方・家庭裁判所判事	
神戸地方裁判所判事	遠藤圭一郎	横浜地方裁判所判事	坂本浩志
東京地方裁判所判事	川崎博司	前橋地方・家庭裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事	穗苅学	横浜地方裁判所判事	橋本健
東京地方裁判所判事	木口麻衣	金沢地方・家庭裁判所判事	
大津家庭・地方裁判所彦根支部判事	鏡味薰	横浜地方裁判所判事	野村充
東京地方裁判所判事	沓掛遼介	大阪地方裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	日向輝彦	横浜地方裁判所判事	葛西功洋
東京地方裁判所判事	水木淳	静岡地方・家庭裁判所判事	
秋田地方・家庭裁判所横手支部判事	村田つかさ	横浜地方裁判所判事	酒井智之
東京地方裁判所判事	木田佳央人	盛岡地方・家庭裁判所判事兼盛岡地方・	
仙台地方・家庭裁判所判事	倉重龍輔	家庭裁判所二戸支部判事	
東京地方裁判所判事	前川悠	横浜地方裁判所判事	藤原和子
東京地方裁判所判事	飯塚謙	徳島家庭・地方裁判所判事	
同	佐々木亮	横浜地方裁判所判事	國井香里
盛岡地方・家庭裁判所花巻支部判事	瀬戸麻未	横浜地方裁判所判事	岩田瑠子
東京地方裁判所判事	古賀千尋	東京家庭・地方裁判所立川支部判事	
さいたま家庭・地方裁判所川越支部判事	柴田裕美	横浜地方・家庭裁判所判事	高橋安紀子
東京地方裁判所判事	前田優太	宇都宮地方・家庭裁判所大田原支部長	
東京地方裁判所判事	海瀬弘章	横浜地方・家庭裁判所川崎支部判事	浅田秀俊
同	清水克久	大阪地方裁判所判事	
旭川家庭・地方裁判所判事	戸畠賢太	横浜地方・家庭裁判所川崎支部判事	小泉健介
東京地方裁判所判事	高橋明宏	長野地方・家庭裁判所松本支部長	
静岡家庭・地方裁判所判事	村井壯太郎	横浜地方・家庭裁判所小田原支部判事	内山梨枝子
東京地方裁判所判事	脇田奈央	東京高等裁判所判事	
広島家庭・地方裁判所尾道支部判事	関口剛弘	横浜地方・家庭裁判所小田原支部判事	佐脇有紀
東京地方裁判所判事		静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事	
東京地方裁判所判事		横浜家庭裁判所判事	五島真希
前橋地方・家庭裁判所判事		那霸地方・家庭裁判所判事	
東京地方裁判所判事		横浜家庭裁判所判事	
津地方・家庭裁判所熊野支部判事		東京高等裁判所判事	
東京地方裁判所判事		さいたま地方・家庭裁判所判事	任介辰哉
名古屋高等裁判所判事		同	石垣陽介
東京地方・家庭裁判所立川支部判事		同	中山雅之
東京高等裁判所判事		名古屋高等裁判所金沢支部判事	
東京家庭裁判所判事		さいたま地方・家庭裁判所判事	
札幌高等裁判所判事		千葉地方・家庭裁判所松戸支部判事	
東京家庭裁判所判事		さいたま地方・家庭裁判所判事	
福岡高等裁判所判事		静岡地方・家庭裁判所浜松支部判事	
東京家庭裁判所判事		さいたま地方・家庭裁判所判事	
鉢巻地方・家庭裁判所帶広支部長		横浜地方・家庭裁判所川崎支部判事	
東京家庭裁判所判事		さいたま地方・家庭裁判所判事	
大津地方・家庭裁判所判事		宇都宮家庭・地方裁判所判事	
東京家庭裁判所判事		さいたま地方・家庭裁判所判事	
東京高等裁判所判事		大阪高等裁判所判事	
横浜地方裁判所判事		さいたま地方・家庭裁判所越谷支部判	

大阪家庭裁判所判事		仙台地方・家庭裁判所判事	
さいたま地方・家庭裁判所越谷支部判事	清水由香	宇都宮地方・家庭裁判所判事	東尾栄子
東京高等裁判所判事		千葉地方・家庭裁判所判事	
さいたま地方・家庭裁判所川越支部判事		宇都宮地方・家庭裁判所真岡支部判事	中畠洋輔
さいたま家庭・地方裁判所越谷支部判事		水戸地方・家庭裁判所下妻支部長	
横浜地方裁判所判事		宇都宮地方・家庭裁判所大田原支部長	渡辺 力
千葉地方裁判所判事		東京高等裁判所判事	
さいたま地方・家庭裁判所判事		宇都宮家庭・地方裁判所越谷支部判事	
千葉地方裁判所判事		宇都宮家庭・地方裁判所判事	本間明日香
東京地方裁判所判事		東京家庭裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		宇都宮家庭・地方裁判所栃木支部判事	横井真由美
札幌高等裁判所判事		東京高等裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		前橋地方・家庭裁判所判事	水上 周
名古屋高等裁判所判事		長崎地方・家庭裁判所厳原支部判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		前橋地方・家庭裁判所判事	栗津 侑
那覇地方・家庭裁判所判事		名古屋家庭裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		前橋地方・家庭裁判所桐生支部判事	渡辺美恵子
水戸家庭・地方裁判所下妻支部判事		福岡高等裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		前橋家庭・地方裁判所判事	光本 洋
さいたま地方・家庭裁判所越谷支部判事		那覇地方・家庭裁判所沖縄支部判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		静岡地方・家庭裁判所判事	林田 海
宇都宮地方・家庭裁判所判事		名古屋家庭・地方裁判所一宮支部判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		静岡地方・家庭裁判所判事	島田尚人
さいたま地方・家庭裁判所熊谷支部判事		那覇家庭・地方裁判所沖縄支部判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		静岡地方・家庭裁判所判事	林田敏幸
東京高等裁判所判事		東京高等裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所松戸支部判事		静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事	菱田泰信
千葉家庭・地方裁判所松戸支部判事		静岡家庭・地方裁判所沼津支部判事	
千葉地方・家庭裁判所松戸支部判事		静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事	前澤久美子
東京高等裁判所判事		東京高等裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所八日市場支部長		静岡地方・家庭裁判所浜松支部判事	川淵健司
千葉家庭・地方裁判所判事		名古屋地方裁判所判事	
千葉家庭・地方裁判所判事		静岡地方・家庭裁判所浜松支部判事	阿久津見房
大阪高等裁判所判事		静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事	
千葉家庭・地方裁判所松戸支部判事		静岡家庭・地方裁判所沼津支部判事	
東京高等裁判所判事		静岡家庭・地方裁判所沼津支部判事	
水戸地方・家庭裁判所判事		甲府地方・家庭裁判所判事	鈴木順子
同		同	横山泰造
水戸地方・家庭裁判所土浦支部判事		長野地方・家庭裁判所判事	真辺朋子
水戸地方・家庭裁判所下妻支部長		長野地方・家庭裁判所松本支部長	山城 司
さいたま地方・家庭裁判所判事		長野地方・家庭裁判所松本支部判事	高橋正幸
水戸地方・家庭裁判所下妻支部判事		大阪地方裁判所判事	
東京高等裁判所判事		長野地方・家庭裁判所伊那支部判事	安井龍明
水戸家庭・地方裁判所土浦支部判事		東京地方裁判所判事	
水戸家庭・地方裁判所下妻支部判事		長野家庭・地方裁判所判事	安見 章
宇都宮地方・家庭裁判所判事		那覇地方・家庭裁判所判事	
旭川地方・家庭裁判所判事		長野家庭・地方裁判所判事	
宇都宮地方・家庭裁判所判事			山下浩之

東京高等裁判所判事		和歌山家庭・地方裁判所判事	
新潟地方・家庭裁判所判事	篠原 礼	大阪地方裁判所判事	塚田奈保
横浜地方裁判所判事		鳥取地方・家庭裁判所判事	
新潟地方・家庭裁判所新発田支部長	熊谷 聰	大阪地方裁判所判事	安西儀晃
新潟地方・家庭裁判所新発田支部長	影山智彦	高松高等裁判所事務局長	
東京地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	一原友彦
新潟地方・家庭裁判所長岡支部判事	松本美緒	大津地方・家庭裁判所判事	
横浜地方・家庭裁判所小田原支部判事		大阪地方裁判所判事	沖 敏子
大阪高等裁判所判事	木山暢郎	函館地方・家庭裁判所判事	
大阪高等裁判所判事	末永雅之	大阪地方裁判所判事	延廣丈嗣
奈良地方・家庭裁判所判事		広島地方・家庭裁判所福山支部判事	
大阪高等裁判所判事	澤田正彦	大阪地方裁判所判事	大久保俊策
大阪地方裁判所判事		千葉地方・家庭裁判所八日市場支部長	
大阪高等裁判所判事	末弘陽一	大阪地方裁判所判事	菅野昌彦
同	加藤 陽	大阪地方裁判所判事	芝田由平
同	松本展幸	横浜地方裁判所判事	
大阪家庭裁判所判事		大阪地方裁判所判事	甲元雅之
大阪高等裁判所判事	山本陽一	東京地方・家庭裁判所立川支部判事	甲元依子
大阪地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
大阪高等裁判所判事	河野伸二郎	福井地方・家庭裁判所判事	神谷善英
大阪高等裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
大阪地方裁判所判事	龍見 昇	神戸地方裁判所判事	鈴木 喬
同	福田修久	大阪地方裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事	森島 聰	広島地方・家庭裁判所判事	村尾和泰
大阪地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
大阪高等裁判所判事	丸田 顕	福岡高等裁判所宮崎支部判事	荒木精一
大阪地方裁判所判事	本田能久	大阪地方裁判所判事	織川逸平
東京高等裁判所判事	佐藤卓生	鹿児島地方・家庭裁判所判事	
大阪地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	木上寛子
同	杉浦正樹	名古屋高等裁判所金沢支部判事	
東京地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	南うらら
大阪地方裁判所判事	松田道別	岡山地方・家庭裁判所判事	吉田真紀
大阪高等裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
大阪地方裁判所判事	上田賀代	横浜地方裁判所判事	田郷岡正哲
大阪高等裁判所判事		大阪地方・家庭裁判所判事	
大阪地方裁判所判事	坂本好司	札幌家庭・地方裁判所判事	並河智子
神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事	栗原 保	大阪地方・家庭裁判所判事	富岡健史
大阪地方裁判所判事		津地方・家庭裁判所伊勢支部判事	
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事	寺垣孝彦	大阪地方・家庭裁判所判事	船戸容子
大阪地方裁判所判事		京都地方裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	石川千咲	大阪地方・家庭裁判所堺支部判事	
大阪地方裁判所判事		松山家庭・地方裁判所判事	村瀬洋朗
宮崎地方・家庭裁判所判事	後藤 誠	大阪地方・家庭裁判所堺支部判事	
大阪地方裁判所判事		横浜地方裁判所判事	
広島地方・家庭裁判所尾道支部長	永野公規	大阪地方・家庭裁判所堺支部判事	藤原靖士
大阪地方裁判所判事		松山地方・家庭裁判所判事	
宮崎地方・家庭裁判所判事		大阪地方・家庭裁判所岸和田支部判事	高場大地
大阪地方裁判所判事	船戸宏之	京都地方・家庭裁判所福知山支部判事	

大分地方・家庭裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
大阪家庭裁判所判事	小林裕敬	奈良地方・家庭裁判所判事	岩崎邦生
福井地方・家庭裁判所敦賀支部判事	田中一孝	那霸家庭・地方裁判所判事	
大阪家庭裁判所判事		奈良地方・家庭裁判所判事	井上直樹
京都家庭裁判所判事		大阪地方・家庭裁判所岸和田支部判事	
大阪家庭・地方裁判所堺支部判事	藪 崇司	奈良地方・家庭裁判所判事	千葉沙織
大阪高等裁判所判事		奈良地方・家庭裁判所判事	石間大輔
京都地方裁判所判事	赤坂宏一	大阪家庭裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事		奈良地方・家庭裁判所葛城支部判事	寺村隼人
京都地方裁判所判事	大久保香織	神戸家庭・地方裁判所姫路支部判事	
東京地方裁判所判事		奈良家庭・地方裁判所判事	永谷幸恵
京都地方裁判所判事	中村修輔	大阪高等裁判所判事	
同	佐藤彩香	大津地方・家庭裁判所判事	大西直樹
仙台家庭・地方裁判所判事	齊藤千春	徳島地方・家庭裁判所判事	
京都地方・家庭裁判所判事		大津地方・家庭裁判所判事	高橋孝治
神戸地方裁判所判事	澤田博之	さいたま地方・家庭裁判所判事	
京都地方・家庭裁判所宮津支部判事		大津地方・家庭裁判所判事	小松美穂子
大阪地方裁判所判事	長谷川武久	岡山地方・家庭裁判所判事	
京都地方・家庭裁判所福知山支部判事		大津地方・家庭裁判所判事	横井裕美
奈良家庭・地方裁判所判事	中島 栄	大阪地方裁判所判事	
京都家庭裁判所判事		大津家庭・地方裁判所彦根支部判事	林 奈桜
大阪高等裁判所判事	大島道代	大阪高等裁判所判事	
神戸地方裁判所判事		和歌山地方・家庭裁判所判事	伊丹 恭
和歌山地方・家庭裁判所判事	高橋綾子	札幌高等裁判所判事	
神戸地方裁判所判事		和歌山地方・家庭裁判所判事	並河浩二
高松高等裁判所判事	下山 誠	東京地方裁判所判事	
神戸地方裁判所判事		和歌山地方・家庭裁判所判事	小坂茂之
岡山家庭・地方裁判所倉敷支部判事	三浦康子	神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事	
神戸地方裁判所判事		和歌山地方・家庭裁判所田辺支部長	丸山 徹
和歌山地方・家庭裁判所田辺支部長		大阪家庭裁判所判事	
神戸地方裁判所判事	姥迫浩司	和歌山家庭・地方裁判所判事	寺元義人
神戸地方裁判所判事	藤田晃弘	東京地方裁判所判事	
大分地方・家庭裁判所杵築支部判事	浦川 剛	名古屋高等裁判所事務局長	福田千恵子
神戸地方・家庭裁判所判事		横浜地方・家庭裁判所小田原支部判事	
神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事	佐藤洋幸	名古屋高等裁判所判事	飯野里朗
神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事		千葉家庭・地方裁判所佐倉支部判事	
京都家庭裁判所判事	吉岡真一	名古屋高等裁判所判事	永山倫代
神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事		名古屋高等裁判所事務局長	
大津地方・家庭裁判所判事	畠山 靖	名古屋高等裁判所判事	澤村智子
神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事		大阪地方裁判所判事	
岡山地方・家庭裁判所倉敷支部長	山本正道	名古屋高等裁判所判事	大久保優子
神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事		東京地方裁判所判事	
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事	渡部五郎	名古屋高等裁判所判事	菱川孝之
神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事		長野地方・家庭裁判所判事	
神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事	島田美喜子	名古屋高等裁判所金沢支部判事	橋本 修
神戸家庭・地方裁判所尼崎支部判事		金沢家庭・地方裁判所判事	
横浜地方裁判所判事	吉澤暁子	名古屋高等裁判所金沢支部判事	峯金容子
神戸家庭・地方裁判所明石支部判事		長野地方・家庭裁判所松本支部判事	
大阪高等裁判所判事		名古屋高等裁判所金沢支部判事	永井健一
神戸家庭・地方裁判所姫路支部判事	大野正男	名古屋高等裁判所判事	

同	松田敦子	東京高等裁判所判事	
札幌地方・家庭裁判所苫小牧支部長	高木博巳	金沢家庭・地方裁判所判事	中野達也
名古屋地方裁判所判事	高木寿美子	東京地方裁判所判事	
札幌高等裁判所判事	平野佑子	富山地方・家庭裁判所判事	小堀瑠生子
名古屋地方裁判所判事	井口礼華	千葉地方・家庭裁判所判事	廣瀬裕亮
東京地方裁判所判事	平野 望	広島高等裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事	小林佳那子	山口地方・家庭裁判所下関支部長	榎本康浩
岐阜家庭・地方裁判所判事	西脇真由子	広島高等裁判所岡山支部判事	
名古屋地方裁判所判事	植村一仁	大阪高等裁判所判事	大森直哉
横浜家庭裁判所判事	石井 寛	広島地方・家庭裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事	田邊浩典	福岡家庭・地方裁判所小倉支部判事	竹尾信道
京都地方裁判所判事	野々山優子	広島地方・家庭裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事	石川真紀子	岡山地方・家庭裁判所判事	大嶺 崇
名古屋家庭裁判所判事	浜口紗織	広島地方・家庭裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所判事	檀上信介	福岡地方・家庭裁判所久留米支部判事	杉本正則
名古屋家庭裁判所判事	島添聰一郎	広島地方・家庭裁判所判事	
名古屋地方裁判所判事	山崎雄大	東京地方裁判所判事	水越壯夫
津地方・家庭裁判所判事	石原和孝	広島地方・家庭裁判所判事	長谷川健太郎
岐阜地方・家庭裁判所判事	鈴木陽一郎	広島高等裁判所岡山支部判事	
津地方・家庭裁判所判事	小川貴紀	広島地方・家庭裁判所尾道支部長	木村哲彦
京都地方裁判所判事	力元慶雄	松山地方・家庭裁判所判事	
津地方・家庭裁判所判事	橋本悠子	広島地方・家庭裁判所福山支部判事	東根正憲
静岡地方・家庭裁判所判事	棚橋知子	東京高等裁判所判事	
津地方・家庭裁判所四日市支部判事	松井雅典	広島家庭裁判所判事	森岡礼子
東京地方裁判所判事	大村陽一	名古屋地方裁判所判事	
津地方・家庭裁判所伊勢支部判事	吉川健治	広島家庭・地方裁判所判事	藤根康平
大阪地方裁判所判事		広島家庭・地方裁判所尾道支部判事	藤根桃世
津地方・家庭裁判所熊野支部判事		熊本地方・家庭裁判所判事	
大阪高等裁判所判事		山口地方・家庭裁判所判事	道場康介
岐阜地方・家庭裁判所判事		大阪高等裁判所判事	
広島地方・家庭裁判所判事		山口地方・家庭裁判所下関支部長	種村好子
岐阜地方・家庭裁判所御嵩支部判事		大阪家庭裁判所判事	
札幌高等裁判所判事		山口家庭・地方裁判所周南支部判事	奥山浩平
岐阜地方・家庭裁判所高山支部判事		大阪高等裁判所判事	
大阪地方裁判所判事		岡山地方・家庭裁判所判事	田中俊行
福井地方・家庭裁判所判事		大阪家庭・地方裁判所堺支部判事	
福井地方・家庭裁判所敦賀支部判事		岡山地方・家庭裁判所判事	安部朋美
長野家庭・地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
福井家庭・地方裁判所判事		岡山地方・家庭裁判所判事	高橋里奈
名古屋地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	
金沢地方・家庭裁判所判事		岡山地方・家庭裁判所判事	内山裕史
東京地方裁判所判事		広島家庭裁判所判事	
金沢地方・家庭裁判所判事		岡山地方・家庭裁判所倉敷支部長	森實有紀
東京地方裁判所判事		大阪家庭裁判所判事	
金沢地方・家庭裁判所判事		岡山家庭・地方裁判所倉敷支部判事	川原田貴弘
東京地方裁判所判事		大阪高等裁判所判事	
鳥取地方・家庭裁判所判事		鳥取地方・家庭裁判所判事	大野祐輔
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事		福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事	
福岡高等裁判所判事		福岡高等裁判所判事	今泉 愛

さいたま地方・家庭裁判所判事		大阪高等裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	佐藤拓海	福岡地方・家庭裁判所久留米支部判事	田中健司
福岡地方・家庭裁判所判事		水戸地方・家庭裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	武林仁美	福岡家庭・地方裁判所判事	吉野内謙志
神戸地方裁判所判事		福岡地方・家庭裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	廣瀬一平	福岡家庭・地方裁判所判事	明日利佳
長崎地方・家庭裁判所佐世保支部判事		大阪地方・家庭裁判所堺支部判事	
福岡高等裁判所判事	矢崎 豊	福岡家庭・地方裁判所判事	琴岡佳美
神戸家庭・地方裁判所尼崎支部判事		福岡高等裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	杉本敏彦	佐賀地方・家庭裁判所判事	今泉裕登
横浜地方裁判所判事		佐賀家庭・地方裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	西尾洋介	佐賀地方・家庭裁判所判事	西村彩子
名古屋地方・家庭裁判所岡崎支部判事		鹿児島地方・家庭裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	三芳純平	佐賀家庭・地方裁判所判事	桂木正樹
大阪地方裁判所判事		福岡高等裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	設樂大輔	長崎地方・家庭裁判所佐世保支部判事	平井健一郎
岐阜地方・家庭裁判所判事		福岡家庭・地方裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	北川幸代	長崎地方・家庭裁判所五島支部判事	本井修平
横浜地方裁判所判事		東京地方裁判所判事	
福岡高等裁判所判事	倉知泰久	長崎地方・家庭裁判所厳原支部判事	松原平学
和歌山地方・家庭裁判所判事		那霸地方・家庭裁判所判事	
福岡高等裁判所宮崎支部判事	佐藤智彦	大分地方・家庭裁判所判事	藤井秀樹
東京地方裁判所判事		横浜地方裁判所判事	
福岡高等裁判所那霸支部判事	平山俊輔	大分地方・家庭裁判所判事	伏見 英
福岡高等裁判所那霸支部判事	吉賀朝哉	大阪地方裁判所判事	
大阪地方裁判所判事		大分地方・家庭裁判所判事	金友宏平
福岡地方・家庭裁判所判事	徳地 淳	福岡高等裁判所判事	
佐賀地方・家庭裁判所判事		大分地方・家庭裁判所杵築支部判事	関 洋太
福岡地方・家庭裁判所判事	岡崎忠之	熊本地方・家庭裁判所判事	佐藤道恵
福岡高等裁判所判事		福岡地方・家庭裁判所飯塚支部判事	
福岡地方・家庭裁判所判事	川口洋平	熊本家庭・地方裁判所判事	柴田 大
東京家庭裁判所判事		福岡高等裁判所判事	
福岡地方・家庭裁判所判事	武富一晃	鹿児島地方・家庭裁判所判事	野々垣隆樹
福岡地方・家庭裁判所判事	細川英仁	東京家庭裁判所判事	
千葉地方・家庭裁判所判事		鹿児島地方・家庭裁判所判事	砂古 剛
福岡地方・家庭裁判所判事	吉田達二	長崎地方・家庭裁判所五島支部判事	
水戸地方・家庭裁判所土浦支部判事		鹿児島地方・家庭裁判所判事	宍戸 崇
福岡地方・家庭裁判所判事	吉野内庸子	神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事	
那霸地方・家庭裁判所判事		宮崎地方・家庭裁判所判事	福島恵子
福岡地方・家庭裁判所判事	加藤 貴	東京地方裁判所判事	
鹿児島地方・家庭裁判所判事		宮崎地方・家庭裁判所判事	古庄 研
福岡地方・家庭裁判所判事	多田真央	大阪家庭裁判所判事	
東京高等裁判所判事		宮崎地方・家庭裁判所延岡支部判事	中出暁子
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事	藤岡 淳	東京高等裁判所判事	
大阪高等裁判所判事		那霸地方・家庭裁判所判事	山口和宏
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事	植田智彦	東京地方裁判所判事	
福岡高等裁判所判事		那霸地方・家庭裁判所判事	君島直之
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事	森 喜史	那霸地方・家庭裁判所沖縄支部判事	藤原未知
熊本家庭・地方裁判所判事		同	畠 政和
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事	佐田崇雄	那霸地方・家庭裁判所名護支部判事	安川秀方

那覇地方・家庭裁判所平良支部判事	丸山聰司	東京地方裁判所判事	間明宏充
那覇家庭・地方裁判所判事	谷地伸之	札幌地方・家庭裁判所判事	
名古屋家庭裁判所判事	吉田真紀	札幌家庭・地方裁判所判事	大塚穂波
仙台地方・家庭裁判所判事	渡邊明子	札幌地方・家庭裁判所判事	小西俊輔
静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事	太田慎吾	東京地方裁判所判事	亀井佑樹
仙台家庭・地方裁判所判事	河合智史	新潟家庭・地方裁判所判事	河野文彦
秋田地方・家庭裁判所判事	古屋勇児	札幌地方・家庭裁判所判事	山下智史
福島地方・家庭裁判所判事	花田隆光	新潟地方・家庭裁判所佐渡支部判事	岡本利彦
千葉地方・家庭裁判所判事	吉田晃一	札幌地方・家庭裁判所判事	塩原 学
福島地方・家庭裁判所郡山支部判事	長峰志織	千葉地方・家庭裁判所判事	塚原洋一
高知地方・家庭裁判所判事	遠山敦士	札幌家庭裁判所判事	知野 明
福島地方・家庭裁判所いわき支部判事	高橋鮎美	さいたま地方・家庭裁判所判事	鈴木敦士
東京地方裁判所判事	長橋政司	札幌家庭・地方裁判所判事	太田多恵
山形地方・家庭裁判所酒田支部判事	伊東智和	大阪地方裁判所判事	盛岡地方・家庭裁判所一関支部判事
名古屋地方裁判所判事	大友真紀子	札幌家庭・地方裁判所判事	深谷佑美
盛岡地方・家庭裁判所兼盛岡地方	岩崎 慎	東京地方裁判所判事	三澤節史
・家庭裁判所二戸支部判事	能登谷宣仁	旭川地方・家庭裁判所判事	バヒスバラン薰
札幌地方・家庭裁判所判事	守山修生	東京地方裁判所判事	新谷祐子
盛岡地方・家庭裁判所花巻支部判事	片山 信	旭川家庭・地方裁判所判事	新海寿加子
知的財産高等裁判所判事	加藤雅寛	東京高等裁判所判事	武藤裕一
盛岡地方・家庭裁判所一関支部判事	宮崎純一郎	釧路地方・家庭裁判所判事	佐藤康行
東京地方裁判所判事	渡辺健一	札幌地方・家庭裁判所判事	松阿彌隆
秋田地方・家庭裁判所横手支部長	廣瀬 孝	釧路地方・家庭裁判所北見支部判事兼	八木文美
青森地方・家庭裁判所判事	太田雅之	釧路地方・家庭裁判所網走支部判事	
秋田家庭・地方裁判所大館支部判事	牛島武人	釧路地方・家庭裁判所北見支部判事兼釧	長谷川利明
東京地方裁判所立川支部判事		路地方・家庭裁判所網走支部判事	
青森地方・家庭裁判所判事		釧路家庭・地方裁判所北見支部判事	深見菜有子
東京地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
青森地方・家庭裁判所弘前支部長		高松高等裁判所事務局長	
高知地方・家庭裁判所判事		東京家庭裁判所判事	
青森地方・家庭裁判所弘前支部判事		高松高等裁判所判事	
東京地方裁判所判事		大阪地方裁判所判事	
青森地方・家庭裁判所八戸支部長		高松高等裁判所判事	
青森地方・家庭裁判所八戸支部判事		津家庭・地方裁判所四日市支部判事	
札幌地方裁判所判事		高松地方・家庭裁判所判事	
札幌高等裁判所判事			
釧路地方・家庭裁判所判事			
札幌高等裁判所判事			
東京地方裁判所判事			
札幌高等裁判所判事			
大阪地方裁判所判事			
札幌高等裁判所判事			
さいたま家庭・地方裁判所判事			
札幌高等裁判所判事			
東京高等裁判所判事			
札幌地方裁判所判事			
奈良地方・家庭裁判所判事			
札幌地方・家庭裁判所判事			
札幌高等裁判所判事			
札幌地方・家庭裁判所判事			

津地方・家庭裁判所判事		東京地方裁判所判事補	野口奈央
高松地方・家庭裁判所丸亀支部判事	深見 翼	長野家庭・地方裁判所上田支部判事補	伊藤嘉恵
大阪高等裁判所判事		東京地方裁判所判事補	
徳島地方・家庭裁判所判事	藤原美弥子	仙台家庭・地方裁判所古川支部判事補	浅井彩香
広島家庭・地方裁判所判事		東京地方裁判所判事補	
徳島地方・家庭裁判所判事	秋武郁代	松山家庭・地方裁判所判事補	
奈良地方・家庭裁判所葛城支部判事		東京地方裁判所判事補	上原絵梨
徳島家庭・地方裁判所判事	園部伸之	東京地方裁判所判事補	川越嵩之
さいたま地方・家庭裁判所判事		同	佐々木健詞
高知地方・家庭裁判所判事	堤 恵子	青森家庭・地方裁判所弘前支部判事補	
福岡高等裁判所判事		東京地方裁判所判事補	渋谷俊介
松山地方・家庭裁判所判事	阿閉正則	静岡地方・家庭裁判所判事補	
横浜家庭裁判所判事		東京地方・家庭裁判所判事補	白井宏和
松山地方・家庭裁判所判事	寺田さや子	釧路地方・家庭裁判所判事補	
宇都宮地方・家庭裁判所判事		東京地方・家庭裁判所判事補	松村光泰
松山地方・家庭裁判所判事	楠 大輔	神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事補	
東京高等裁判所判事		東京地方・家庭裁判所判事補	山田裕貴
松山家庭・地方裁判所判事	楠真由子	鹿児島地方・家庭裁判所判事補	
札幌地方・家庭裁判所判事		東京地方・家庭裁判所判事補	一社紀行
松山家庭・地方裁判所判事	寺田利彦	福島地方・家庭裁判所郡山支部判事補	
佐賀家庭・地方裁判所武雄支部判事補		東京地方・家庭裁判所判事補	藪下冬子
東京地方裁判所判事補	天田愛美	松山地方・家庭裁判所判事補	川邊朝隆
東京地方裁判所判事補	稻井雄介	東京地方・家庭裁判所判事補	清光成実
同	岡田 肇	神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事補	
同	尾田いずみ	東京地方・家庭裁判所判事補	西條壯優
同	北原直樹	福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補	
静岡地方・家庭裁判所浜松支部判事補	杵渕花絵	東京地方・家庭裁判所判事補	佐藤みなど
東京地方・家庭裁判所判事補	黒木宏太	東京地方・家庭裁判所判事補	
東京地方裁判所判事補	高木俊明	東京地方裁判所判事補	池田翔平
同	竹内友紀子	同	大野志明
同	中井裕美	同	岡崎真実
同	伊藤圭子	同	小倉広太郎
大津地方・家庭裁判所判事補	大嶋真理子	同	金井千夏
東京地方裁判所判事補		同	河合美月
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補	中川大夢	同	川畠百代
東京地方裁判所判事補		同	後藤 彩
札幌地方・家庭裁判所判事補	永田大貴	同	佐藤有紀
東京地方裁判所判事補		同	清水洋佑
宮崎家庭・地方裁判所都城支部判事補	浅尾莊平	同	竹田美波
東京地方裁判所判事補		同	成岡勇哉
福島地方・家庭裁判所いわき支部判事補	有本祥子	同	町田 翼
東京地方裁判所判事補	伊藤倫理子	福岡地方・家庭裁判所判事補	山口愛子
東京地方裁判所判事補	鬼頭忠広	東京地方・家庭裁判所立川支部判事補	山中秀斗
同		富山地方・家庭裁判所判事補	
福島地方・家庭裁判所いわき支部判事補	佐藤秀海	東京地方・家庭裁判所立川支部判事補	加々美希
東京地方裁判所判事補		福島地方・家庭裁判所判事補	
佐賀地方・家庭裁判所判事補		東京地方・家庭裁判所立川支部判事補	三木洋美
東京地方裁判所判事補	瀧田佳代	東京地方・家庭裁判所立川支部判事補	岩竹 遼

山形地方・家庭裁判所酒田支部判事補	伊藤健太郎	山形家庭・地方裁判所判事補兼山形家庭
東京家庭裁判所判事補		・地方裁判所米沢支部判事補
岐阜地方・家庭裁判所高山支部判事補		さいたま地方・家庭裁判所川越支部判
東京家庭裁判所判事補		事補
宮崎地方・家庭裁判所延岡支部判事補		田屋茂樹
東京家庭裁判所判事補		京都地方・家庭裁判所宮津支部判事補
札幌地方・家庭裁判所判事補		さいたま家庭・地方裁判所判事補
東京家庭裁判所判事補		中田萌々
東京家庭裁判所判事補		千葉地方・家庭裁判所判事補
同		大阪地方・家庭裁判所判事補
同		千葉地方・家庭裁判所判事補
同		山田明日香
福岡地方・家庭裁判所判事補		神戸地方・家庭裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所判事補		千葉地方・家庭裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所判事補		千葉地方・家庭裁判所判事補
松山家庭・地方裁判所西条支部判事補		千葉地方裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所判事補		同
横浜地方・家庭裁判所判事補		同
神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事補		同
横浜地方・家庭裁判所判事補		同
松江地方・家庭裁判所判事補		千葉家庭・地方裁判所松戸支部判事補
横浜地方・家庭裁判所判事補		千葉地方・家庭裁判所松戸支部判事補
横浜地方・家庭裁判所判事補		札幌地方・家庭裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所判事補		水戸地方・家庭裁判所判事補
横浜地方裁判所判事補		水戸地方・家庭裁判所判事補
同		水戸地方裁判所判事補
同		宇都宮地方・家庭裁判所判事補
同		宇都宮地方裁判所判事補
同		同
和歌山地方・家庭裁判所判事補		前橋地方・家庭裁判所判事補
横浜地方・家庭裁判所小田原支部判事補		前橋地方裁判所判事補
鹿児島家庭・地方裁判所名瀬支部判事補		同
さいたま地方・家庭裁判所判事補		同
さいたま地方・家庭裁判所判事補		大阪家庭・地方裁判所判事補
東京地方裁判所判事補		静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事補
さいたま地方・家庭裁判所判事補		藤本敬太
秋田家庭・地方裁判所大館支部判事補		山口地方・家庭裁判所判事補
さいたま地方・家庭裁判所判事補		静岡地方・家庭裁判所沼津支部判事補
神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事補		足立賢明
さいたま地方・家庭裁判所判事補		鳥取地方・家庭裁判所判事補
那覇地方・家庭裁判所沖縄支部判事補		静岡家庭・地方裁判所判事補
さいたま地方・家庭裁判所判事補		沼田晃一
名古屋地方・家庭裁判所一宮支部判事補		静岡家庭・地方裁判所判事補
さいたま地方・家庭裁判所判事補		金子茉由
名古屋地方裁判所判事補		静岡地方・家庭裁判所浜松支部判事補
さいたま地方・家庭裁判所判事補		静岡家庭・地方裁判所浜松支部判事補
さいたま地方・家庭裁判所判事補		西ヶ谷恵
さいたま地方裁判所判事補		名古屋地方裁判所判事補
同		長野地方・家庭裁判所判事補
同		東京地方裁判所判事補
同		長野地方・家庭裁判所松本支部判事補
同		長野地方・家庭裁判所諏訪支部判事補
同		名古屋地方裁判所判事補
同		新潟地方・家庭裁判所判事補
同		東京地方裁判所判事補
同		新潟家庭・地方裁判所判事補
同		同
同		大阪地方・家庭裁判所判事補

大阪地方・家庭裁判所判事補	小川貴裕	同	山口大輔
同	神永 晓	岡山家庭・地方裁判所判事補	
前橋地方・家庭裁判所桐生支部判事補	福間 匠	神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事補	一花有香里
大阪地方・家庭裁判所判事補	松田康孝	札幌家庭・地方裁判所判事補	
岐阜地方・家庭裁判所御嵩支部判事補	岡田総司	神戸地方・家庭裁判所尼崎支部判事補	宮 里美
大阪地方・家庭裁判所判事補	山田慎悟	東京家庭裁判所判事補	
山口家庭・地方裁判所岩国支部判事補	初谷湧紀	神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事補	田中佐和子
大阪地方・家庭裁判所判事補	中村暢明	大阪家庭・地方裁判所判事補	
和歌山地方・家庭裁判所田辺支部判事補	森 朋美	神戸地方・家庭裁判所姫路支部判事補	須藤晴菜
兼和歌山地方・家庭裁判所御坊支部判事補	佐藤壮一郎	奈良地方・家庭裁判所判事補	
大阪地方・家庭裁判所判事補	若園 恵	奈良地方裁判所判事補	白石大樹
大分地方・家庭裁判所判事補	岡野哲郎	広島地方・家庭裁判所判事補	
大阪地方・家庭裁判所判事補	小草啓紀	大津地方・家庭裁判所判事補	林 宏樹
那霸地方・家庭裁判所判事補	柏木桃子	大津地方・家庭裁判所判事補	
大阪地方・家庭裁判所判事補	鈴村悠恭	大津地方裁判所判事補	中野彩華
秋田地方・家庭裁判所判事補	澄川ほなみ	仙台地方・家庭裁判所判事補	
大阪地方・家庭裁判所判事補	西田篤史	和歌山地方・家庭裁判所判事補	石橋直幸
大阪地方・家庭裁判所判事補	広嶋玲哉	和歌山地方・家庭裁判所判事補	
大阪地方裁判所判事補	五味亮一	和歌山地方裁判所判事補	英保博則
同	戸部友希	和歌山家庭・地方裁判所判事補	山崎岳志
同	荻原 悅	前橋地方・家庭裁判所太田支部判事補	
同	堀田康介	名古屋地方裁判所判事補	谷 良美
長野地方・家庭裁判所伊那支部判事補	大島泰史	長野地方・家庭裁判所松本支部判事補	
大阪家庭・地方裁判所判事補	佐藤由美子	名古屋地方裁判所判事補	山崎文寛
東京地方裁判所判事補	糸賀紀衣	熊本家庭・地方裁判所判事補	
大阪家庭・地方裁判所判事補	西村陽佑	名古屋地方裁判所判事補	若林慶浩
水戸地方・家庭裁判所下妻支部判事補	山田覚己	名古屋地方・家庭裁判所判事補	
京都地方・家庭裁判所判事補	川上タイ	名古屋家庭・地方裁判所岡崎支部判事補	石川颯人
京都地方・家庭裁判所判事補	信吉将伍	名古屋地方・家庭裁判所岡崎支部判事補	大井友貴
長崎地方・家庭裁判所佐世保支部判事補	成田昌平	東京地方裁判所判事補	奥野育美
京都地方・家庭裁判所判事補	山形一成	名古屋家庭・地方裁判所岡崎支部判事補	梁川将成
京都地方裁判所判事補		名古屋地方裁判所半田支部判事補	
同		名古屋地方・家庭裁判所半田支部判事補	秋本円香
同		名古屋地方・家庭裁判所岡崎支部判事補	馬場梨代
山口地方・家庭裁判所下関支部判事補		名古屋地方・家庭裁判所岡崎支部判事補	
神戸地方・家庭裁判所判事補		名古屋家庭・地方裁判所岡崎支部判事補	西脇典子
神戸地方・家庭裁判所判事補		名古屋家庭・地方裁判所岡崎支部判事補	
神戸地方裁判所判事補		津地方・家庭裁判所判事補	大村明菜
同		津地方裁判所判事補	芹澤美知太郎
		さいたま家庭・地方裁判所判事補	
		津地方・家庭裁判所四日市支部判事補	山本健太
		札幌地方・家庭裁判所室蘭支部判事補	丹野由莉
		岐阜地方・家庭裁判所判事補	
		岐阜地方・家庭裁判所判事補	守屋尚志
		岐阜地方裁判所判事補	
		奥野佑麻	
		金子隼人	

静岡家庭・地方裁判所富士支部判事補
 岐阜家庭・地方裁判所判事補
 福井地方・家庭裁判所判事補
 福井地方裁判所判事補
 金沢地方・家庭裁判所判事補
 金沢地方裁判所判事補
 金沢家庭・地方裁判所判事補
 釧路地方・家庭裁判所帶広支部判事補
 金沢家庭・地方裁判所判事補
 富山地方・家庭裁判所判事補
 富山地方裁判所判事補
 京都地方・家庭裁判所判事補
 広島地方・家庭裁判所判事補
 東京地方・家庭裁判所立川支部判事補
 広島地方・家庭裁判所判事補
 横浜地方・家庭裁判所判事補
 広島地方・家庭裁判所判事補
 広島地方・家庭裁判所判事補
 広島地方裁判所判事補
 大阪地方・家庭裁判所判事補
 山口地方・家庭裁判所判事補
 名古屋地方裁判所判事補
 山口地方・家庭裁判所下関支部判事補
 福井地方・家庭裁判所判事補
 山口家庭・地方裁判所岩国支部判事補
 岡山地方・家庭裁判所判事補
 岡山地方裁判所判事補
 同
 静岡地方・家庭裁判所判事補
 岡山家庭・地方裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補
 鳥取地方・家庭裁判所判事補
 大阪地方・家庭裁判所判事補
 鳥取地方・家庭裁判所判事補
 東京地方裁判所判事補
 松江地方・家庭裁判所判事補
 山口家庭・地方裁判所周南支部判事補
 福岡地方・家庭裁判所判事補
 福岡家庭・地方裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所判事補
 京都地方・家庭裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所判事補
 水戸地方・家庭裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所判事補
 福岡地方裁判所判事補
 同
 旭川家庭・地方裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所飯塚支部判事補
 佐賀地方・家庭裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補

西沢 謙
 亀井獎之
 若松達郎
 志田智之
 高田浩平
 蟻塚 真
 佐々木悠士
 高橋千穂
 塚本友樹
 斎藤あゆみ
 定松祐太朗
 秦 卓義
 徳井隆一
 大島眞美
 春木直也
 谷田部峻
 渡部孝彦
 西村拓己
 海野泰信
 合六水希
 岡村祐衣
 高橋侑子
 田中 悠
 卜部有加子
 絹川宥樹
 佐藤 悅
 福本晶奈
 鹿児島家庭・地方裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補 小山大輔
 旭川地方・家庭裁判所判事補
 福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補 佐藤いぶき
 佐賀地方・家庭裁判所判事補
 佐賀地方裁判所判事補 神尾元樹
 東京地方裁判所判事補
 佐賀家庭・地方裁判所武雄支部判事補 蕪城真由子
 長崎地方・家庭裁判所判事補
 長崎地方裁判所判事補 笠松咲穂
 大分地方・家庭裁判所判事補 周藤崇久
 東京地方裁判所判事補
 大分地方・家庭裁判所判事補 橋之口峻
 大分地方・家庭裁判所判事補 渡邊結有
 横浜地方・家庭裁判所判事補
 熊本地方・家庭裁判所判事補 金光美奈
 大阪地方・家庭裁判所判事補 安曇大智
 熊本地方・家庭裁判所判事補 牧野芙美
 東京地方裁判所判事補 河原春奈
 熊本家庭・地方裁判所判事補 久保晃司
 鹿児島地方・家庭裁判所判事補
 高松地方・家庭裁判所丸亀支部判事補
 鹿児島地方・家庭裁判所判事補 高木 亨
 東京地方裁判所判事補
 鹿児島地方・家庭裁判所判事補 溝口翔太
 鹿児島地方・家庭裁判所判事補 岡英美子
 長野地方・家庭裁判所松本支部判事補
 鹿児島家庭・地方裁判所判事補 水野健太
 東京地方裁判所判事補
 鹿児島家庭・地方裁判所名瀬支部判事補 森 智也
 大阪地方・家庭裁判所判事補 今泉颯太
 東京地方裁判所判事補
 宮崎地方・家庭裁判所判事補 渡邊智弘
 宮崎家庭・地方裁判所都城支部判事補 小橋陽一郎
 名古屋地方裁判所判事補
 那霸地方・家庭裁判所判事補 坂本辰仁
 大阪地方・家庭裁判所判事補 立仙早矢
 那霸地方・家庭裁判所判事補 東京地方裁判所判事補
 那霸地方・家庭裁判所沖縄支部判事補 澤 大地
 那霸地方・家庭裁判所沖縄支部判事補 中丸隆之
 仙台地方・家庭裁判所判事補 平山翔悟
 横浜地方・家庭裁判所小田原支部判事補
 仙台地方・家庭裁判所判事補 太田こもも

仙台地方・家庭裁判所判事補	佐々木麗	徳島地方・家庭裁判所判事補	松田祐紀
仙台地方裁判所判事補	岩下弘毅	徳島地方裁判所判事補	
仙台家庭・地方裁判所判事補		福岡地方・家庭裁判所判事補	
さいたま家庭・地方裁判所熊谷支部判事補		高知地方・家庭裁判所判事補	遠藤裕樹
福島地方・家庭裁判所判事補	奥山拓哉	東京地方裁判所判事補	
福島地方・家庭裁判所判事補		松山地方・家庭裁判所判事補	加藤 創
福島地方裁判所判事補	田邊将高	松山家庭・地方裁判所宇和島支部判事補	野上小夜子
長野家庭・地方裁判所判事補		新庄簡易裁判所判事	
福島地方・家庭裁判所いわき支部判事補	吉原裕貴	東京簡易裁判所判事	鍋谷能文
東京地方裁判所判事補		水沢簡易裁判所判事	
山形地方・家庭裁判所判事補	板場敦子	新庄簡易裁判所判事	腰塚秀一
山形地方・家庭裁判所判事補		葛城簡易裁判所判事兼五條簡易裁判所判事兼宇陀簡易裁判所判事	
山形地方裁判所判事補	佐藤 元	葛城簡易裁判所判事兼五條簡易裁判所判事	
釧路家庭・地方裁判所北見支部判事補		鹿児島簡易裁判所判事兼指宿簡易裁判所判事	仙波陽子
秋田地方・家庭裁判所判事補	杉本岳洋	鹿児島簡易裁判所判事	須田啓之
千葉地方・家庭裁判所判事補		最高裁判所裁判所書記官	
青森地方・家庭裁判所判事補	栗林 隼	東京地方裁判所民事次席書記官	岡本正士
青森地方・家庭裁判所判事補		最高裁判所判事秘書官	
青森地方裁判所判事補	早坂謙児	千葉家庭裁判所木更津支部主任書記官	石川正史
東京地方裁判所判事補		静岡家庭裁判所浜松支部主任書記官	山科政則
青森家庭・地方裁判所弘前支部判事補	舘崎友輔	事務総局総務局参事官兼情報政策課参事官	
札幌地方・家庭裁判所判事補	石川紘紹	東京高等裁判所事務局総務課長	塚田智大
新潟地方・家庭裁判所判事補		事務総局経理局監査課長	
札幌地方・家庭裁判所判事補	佐藤克郎	東京高等裁判所事務局会計課長	楠木久史
札幌地方・家庭裁判所判事補		最高裁判所図書館副館長	
札幌地方裁判所判事補	豊富 育	千葉家庭裁判所事務局次長	小林 徹
札幌地方裁判所判事補		最高裁判所図書館整理課長	
同	北村規哲	千葉地方裁判所事務局出納課長	上杉郁子
同	木村大慶	司法研修所事務局総務課長	
同	田中大地	司法研修所事務局企画第一課長	本田千鶴
東京地方裁判所判事補	宮原翔子	司法研修所事務局経理課長	
札幌地方・家庭裁判所室蘭支部判事補	雨宮竜太	東京家庭裁判所事務局経理課長	大澤寛久
新潟地方・家庭裁判所判事補	河野明日香	司法研修所事務局企画第一課長	新升松治
札幌家庭・地方裁判所判事補		新潟地方裁判所民事次席書記官	
東京地方裁判所判事補	木村航晟	司法研修所事務局企画第二課長	
函館地方・家庭裁判所判事補		横浜地方裁判所事務局次長	堀川浩司
横浜地方・家庭裁判所川崎支部判事補	鈴木真理子	裁判所職員総合研修所事務局総務課長	
旭川地方・家庭裁判所判事補		甲府家庭裁判所事務局次長	岩崎光宏
旭川地方・家庭裁判所判事補	中村憲二	裁判所職員総合研修所事務局企画研修第一課研究企画官兼裁判所職員総合研修所教官	
旭川地方裁判所判事補		新潟地方裁判所長岡支部庶務課長兼任主任書記官	大淵光浩
高松地方・家庭裁判所判事補	唐澤開維	東京高等裁判所民事次席書記官	
高松地方裁判所判事補	尾島祐太郎	横浜地方裁判所事務局次長	横川淳子
高松地方・家庭裁判所判事補		東京高等裁判所事務局総括企画官兼民事次席書記官兼刑事次席書記官兼任事務総局総務局審査官	
高松家庭・地方裁判所判事補	玉岡伸也	東京高等裁判所主任書記官	澤井和也
福岡地方・家庭裁判所小倉支部判事補			
徳島地方・家庭裁判所判事補	古市賢吾		

東京高等裁判所事務局総務課長		さいたま地方裁判所民事首席書記官	
東京地方裁判所民事次席書記官	松井美由樹	静岡家庭裁判所事務局長	宮澤康弘
東京高等裁判所事務局会計課長		さいたま地方裁判所総括主任書記官	
東京地方裁判所事務局次長	黒澤 剛	最高裁判所裁判所書記官	綱島紀子
東京地方裁判所民事次席書記官		さいたま地方裁判所刑事次席書記官	
静岡地方裁判所事務局次長	大武 浩	前橋地方裁判所刑事次席書記官	川島洋一
東京地方裁判所民事次席書記官		さいたま第一検察審査会事務局長	
長野地方裁判所民事次席書記官	佐藤順一	東京地方裁判所刑事訟廷副管理官	横川 進
水戸家庭裁判所事務局次長	植木佳恵	千葉地方裁判所民事次席書記官	
東京地方裁判所総括主任書記官		前橋地方裁判所民事次席書記官	星野 彰
東京高等裁判所主任書記官	谷口典子	千葉地方裁判所総括主任書記官	
東京地方裁判所事務局次長		東京地方裁判所民事訟廷管理官	鈴木信之
新潟地方裁判所事務局次長	坪谷和伸	千葉地方裁判所民事訟廷副管理官	
東京地方裁判所事務局次長（立川支部配置）兼東京家庭裁判所事務局次長（立川支部配置）		最高裁判所判事秘書官	安本卓史
事務総局総務局審査官	今田義紀	千葉地方裁判所事務局長	
東京地方裁判所民事次席書記官（立川支部配置）		事務総局経理局監査課長	中橋 章
東京高等裁判所事務局総括企画官		千葉第一検察審査会事務局長	
東京簡易裁判所民事首席書記官	花岡 愛	東京地方裁判所主任書記官	飯野喜久夫
司法研修所事務局企画第二課長		千葉第二検察審査会事務局長	
東京簡易裁判所民事次席書記官兼刑事次席書記官	橋本 聰	東京地方裁判所主任書記官	圓野正紀
東京地方裁判所総括主任書記官	安川禎明	水戸地方裁判所事務局長	内野 洋
東京簡易裁判所事務部長		東京高等裁判所民事次席書記官	樋口敏子
横浜家庭裁判所事務局次長	八幡有紀	宇都宮地方裁判所民事首席書記官	福與輝彦
東京第二検察審査会事務局長		司法研修所事務局総務課長	
東京簡易裁判所主任書記官	佐々木直樹	宇都宮地方裁判所民事次席書記官	
東京第四検察審査会事務局長		事務総局民事局審査官	
さいたま家庭裁判所民事訟廷管理官	山本恵子	宇都宮地方裁判所事務局次長	
横浜地方裁判所民事次席書記官		東京高等裁判所主任書記官	赤穂珠代
東京地方裁判所民事次席書記官（立川支部配置）	菊地雅彦	前橋地方裁判所民事首席書記官	
横浜地方裁判所総括主任書記官		東京簡易裁判所事務部長	青木有子
東京地方裁判所刑事訟廷管理官	鈴木 誠	前橋地方裁判所民事次席書記官	
横浜地方裁判所刑事首席書記官		東京高等裁判所主任書記官	宮脇元彦
長野地方裁判所刑事首席書記官	白倉純一	前橋地方裁判所刑事次席書記官	
横浜地方裁判所刑事次席書記官		最高裁判所裁判所書記官	草野和弘
東京高等裁判所刑事訟廷管理官	村松忠司	前橋地方裁判所事務局次長	
横浜地方裁判所事務局次長		東京高等裁判所事務局会計課企画官兼 知的財産高等裁判所事務局庶務第二課 長	
千葉地方裁判所事務局経理課長	山田 聰	静岡地方裁判所民事首席書記官	森岡泰彦
宇都宮地方裁判所事務局次長	山田雅彦	千葉地方裁判所民事次席書記官	
横浜地方裁判所事務局人事課課長補佐		静岡地方裁判所民事次席書記官	
最高裁判所判事秘書官	石神 充	横浜地方裁判所総括主任書記官	
横浜第一検察審査会事務局長		静岡地方裁判所事務局次長	
横浜地方裁判所刑事訟廷管理官	近藤浩一	事務総局秘書課審査官	
横浜第二検察審査会事務局長		静岡検察審査会事務局長	
横浜地方裁判所横須賀支部庶務課長兼 主任書記官	鈴木 誠	静岡地方裁判所主任書記官	
横浜第三検察審査会事務局長		長野地方裁判所民事次席書記官	高村匡祐
東京高等裁判所民事訟廷副管理官	寺田昌玄	千葉地方裁判所総括主任書記官	赤坂 剛
		長野地方裁判所刑事首席書記官	
		横浜地方裁判所刑事次席書記官	小山秀明

長野地方裁判所事務局長兼長野家庭裁判所事務局長		千葉家庭裁判所事務局次長	
裁判所職員総合研修所事務局総務課長	森本 益	さいたま家庭裁判所家事次席書記官	佐藤葉子
長野検察審査会事務局長	栗木里子	水戸家庭裁判所事務局次長	
長野家庭裁判所主任書記官	佐々木良明	司法研修所事務局経理課長	岩崎潤一郎
新潟地方裁判所民事次席書記官	大竹正彦	宇都宮家庭裁判所首席書記官	
東京高等裁判所主任書記官	石川 仁	東京家庭裁判所家事次席書記官(立川支部配置)兼少年次席書記官(立川支部配置)	池田純一郎
新潟地方裁判所事務局次長	井手本明	前橋家庭裁判所首席書記官	
東京地方裁判所事務局出納第一課長	水口輝昭	東京家庭裁判所事務局次長	大樋裕康
新潟検察審査会事務局長	高橋 学	静岡家庭裁判所事務局長	
新潟地方裁判所高田支部主任書記官	田中 巧	東京地方裁判所事務局次長(立川支部配置)兼東京家庭裁判所事務局次長(立川支部配置)	早稲田浩
東京家庭裁判所家事首席書記官	米満 優子	甲府家庭裁判所事務局次長	
横浜家庭裁判所家事首席書記官	杉原徳美	東京簡易裁判所民事次席書記官兼刑事次席書記官	押田美由貴
東京家庭裁判所家事次席書記官	鈴木純子	長野家庭裁判所首席書記官	
横浜家庭裁判所家事次席書記官	清水秀次郎	東京家庭裁判所家事次席書記官	白須敬子
横浜家庭裁判所総括主任書記官	竹村彰修	新潟家庭裁判所次席書記官	
横浜家庭裁判所総括主任書記官	岡田守晃	東京高等裁判所主任書記官	大原 栄
東京高等裁判所主任書記官	松本浩昭	新潟家庭裁判所事務局次長	松村啓秀
横浜家庭裁判所少年首席書記官	山澤美穂子	水戸家庭裁判所事務局会計課長	
千葉家庭裁判所家事次席書記官兼少年次席書記官	関根恵子	大阪高等裁判所民事首席書記官	梅村哲也
横浜家庭裁判所事務局次長	遠藤辰治	大阪家庭裁判所家事首席書記官	
甲府家庭裁判所事務局総務課長	依田 理	大阪高等裁判所民事次席書記官	
さいたま家庭裁判所家事首席書記官	鈴木 浩	大阪地方裁判所民事次席書記官(堺支部配置)	宮本光浩
宇都宮地方裁判所民事次席書記官		大阪高等裁判所事務局総括企画官兼民事次席書記官兼刑事次席書記官	
さいたま家庭裁判所家事次席書記官		神戸地方裁判所事務局次長	和田健司
東京高等裁判所主任書記官		大阪高等裁判所事務局会計課長	
さいたま家庭裁判所少年首席書記官		京都地方裁判所事務局次長	光田和秀
東京家庭裁判所少年次席書記官		大阪地方裁判所民事首席書記官	
さいたま家庭裁判所少年次席書記官兼家事次席書記官		京都家庭裁判所家事首席書記官	吉田隆樹
さいたま家庭裁判所少年次席書記官		大阪地方裁判所民事次席書記官	
さいたま家庭裁判所事務局長		大阪地方裁判所総括主任書記官	玉田裕昭
長野地方裁判所事務局長兼長野家庭裁判所事務局長		大阪家庭裁判所家事訟廷副管理官	福岡佳織
千葉家庭裁判所家事首席書記官		大阪地方裁判所刑事次席書記官	
長野家庭裁判所首席書記官		大阪地方裁判所事務局次長(堺支部配置)兼大阪家庭裁判所事務局次長(堺支部配置)	福島正人
千葉家庭裁判所家事次席書記官兼少年次席書記官		京都地方裁判所刑事訟廷管理官	
前橋地方裁判所事務局次長	加茂容子	大阪地方裁判所事務局次長(堺支部配置)兼大阪家庭裁判所事務局次長(堺支部配置)	川上雅之
		京都地方裁判所事務局総務課長	大本善久
			下村義之

大阪地方裁判所民事次席書記官（堺支部配置）		大阪家庭裁判所事務局次長	
神戸地方裁判所民事訟廷管理官	川端利彦	神戸家庭裁判所事務局次長	黒瀬靖弘
大阪簡易裁判所首席書記官	前田和美	京都家庭裁判所家事首席書記官	万里川敦子
大阪地方裁判所民事次席書記官	日外康裕	神戸地方裁判所刑事次席書記官	檜垣信寿
大阪第二検察審査会事務局長	大森和彦	京都家庭裁判所少年首席書記官	
大阪第三検察審査会事務局長	高崎 修	大阪地方裁判所刑事次席書記官	
大阪第三検察審査会事務局長	三宅秀明	京都家庭裁判所事務局次長	
大阪第四検察審査会事務局長	嶋田泰彦	大阪高等裁判所事務局総務課文書企画官	
大阪第四検察審査会事務局長	松田昌允	神戸家庭裁判所家事首席書記官	
和歌山検察審査会事務局長	福本浩孝	神戸家庭裁判所少年首席書記官	佐藤一徹
京都地方裁判所民事首席書記官	羽藤彰啓	神戸家庭裁判所家事次席書記官	
大阪高等裁判所事務局総括企画官	田和由一	大阪家庭裁判所家事訟廷管理官	藤澤和行
京都地方裁判所民事次席書記官	荒木由美子	神戸家庭裁判所少年首席書記官	
神戸家庭裁判所家事次席書記官	木村祐司	大阪家庭裁判所少年次席書記官	加藤由佳子
京都地方裁判所総括主任書記官	藤谷浩太郎	神戸家庭裁判所事務局次長	
大阪家庭裁判所事務局会計課長	橋本悦次	大津地方裁判所事務局次長	北田宗人
京都地方裁判所事務局次長	浅野ゆかり	和歌山家庭裁判所事務局次長	
和歌山地方裁判所事務局次長	寺峰 功	京都地方裁判所事務局経理課長	半野勇樹
京都第二検察審査会事務局長	小西 圭	名古屋高等裁判所民事次席書記官	
大津検察審査会事務局長	森谷尚樹	津地方裁判所民事首席書記官	柘植泰人
神戸地方裁判所民事次席書記官	松田栄司	名古屋高等裁判所事務局総括企画官兼民事次席書記官兼刑事次席書記官	
京都家庭裁判所事務局次長	清水 妙	名古屋家庭裁判所事務局次長	永井年典
神戸地方裁判所刑事次席書記官	漆間宣行	名古屋高等裁判所事務局総務課長	
奈良地方裁判所民事首席書記官	荒木健二	裁判所職員総合研修所事務局企画研修第一課研究企画官兼裁判所職員総合研修所教官	
神戸地方裁判所民事次席書記官	吉田義一	名古屋地方裁判所民事次席書記官	南出良仁
奈良地方裁判所事務局長	加藤 熱	名古屋高等裁判所民事訟廷管理官	柴田こずえ
大阪家庭裁判所事務局次長		名古屋第一検察審査会事務局長	朱宮陽一
奈良地方裁判所事務局次長		名古屋地方裁判所総括主任書記官	
神戸地方裁判所刑事次席書記官		最高裁判所裁判所書記官	宮脇雅代
大津地方裁判所民事首席書記官		名古屋第一検察審査会事務局長	
大阪高等裁判所民事次席書記官		名古屋第二検察審査会事務局長	加藤 正
大津地方裁判所事務局次長		名古屋第二検察審査会事務局長	
大阪地方裁判所刑事次席書記官		一宮簡易裁判所主任書記官	内藤 修
大津検察審査会事務局長		津地方裁判所民事首席書記官	
伊丹検察審査会事務局長		岐阜地方裁判所事務局次長兼岐阜家庭裁判所事務局次長	武藤和夫
和歌山地方裁判所事務局次長		岐阜地方裁判所事務局長	
和歌山家庭裁判所事務局次長		四日市簡易裁判所庶務課長兼主任書記官	荒木 理
和歌山検察審査会事務局長		岐阜地方裁判所民事首席書記官	
田辺検察審査会事務局長		名古屋地方裁判所民事次席書記官	古田 学
大阪家庭裁判所家事首席書記官		岐阜地方裁判所刑事首席書記官	
奈良地方裁判所事務局長		福井地方裁判所民事首席書記官	豊吉 健
大阪家庭裁判所少年首席書記官		岐阜地方裁判所刑事次席書記官	
京都家庭裁判所少年首席書記官		名古屋高等裁判所刑事訟廷管理官	小林公二
大阪家庭裁判所少年次席書記官		岐阜地方裁判所事務局次長	
大阪地方裁判所刑事訟廷管理官		名古屋地方裁判所裁判員調整官	金地啓之

福井地方裁判所民事首席書記官		山口検察審査会事務局長	
福井地方裁判所事務局次長	木戸琢磨	岩国簡易裁判所庶務課長兼主任書記官	小佐田文孝
福井地方裁判所事務局長兼福井家庭裁判所事務局長		岡山地方裁判所民事次席書記官	
福井地方裁判所事務局長	早川示教	広島高等裁判所民事訟廷管理官	大脇健司
福井地方裁判所事務局次長		岡山地方裁判所事務局長	
福井家庭裁判所事務局次長	高橋光彦	広島高等裁判所事務局会計課長	倉迫孝次
金沢地方裁判所刑事首席書記官		岡山検察審査会事務局長	
富山家庭裁判所事務局次長	藤田博文	岡山地方裁判所主任書記官	吉川茂文
金沢検察審査会事務局長		鳥取地方裁判所事務局次長	
富山検察審査会事務局長	稻葉 誠	岡山地方裁判所民事次席書記官	浅野良児
富山地方裁判所刑事首席書記官		松江地方裁判所事務局長兼松江家庭裁判所事務局長	
金沢家庭裁判所事務局次長	安野明彦	松江家庭裁判所事務局長	田渕修一
富山地方裁判所事務局長	三谷明史	広島家庭裁判所事務局長	富永正雄
名古屋高等裁判所事務局総務課長		岡山家庭裁判所事務局長	
富山検察審査会事務局長	酒井智代	松江地方裁判所事務局長	廣澤嘉孝
金沢家庭裁判所事務局会計課課長補佐		鳥取家庭裁判所事務局次長	
名古屋家庭裁判所事務局次長	竹内 亨	広島地方裁判所事務局会計課長	岡田健三
名古屋家庭裁判所事務局人事課長		松江家庭裁判所首席書記官	
岐阜家庭裁判所事務局長	角屋 晃	鳥取家庭裁判所事務局次長	東 真理
名古屋高等裁判所民事次席書記官		福岡高等裁判所民事次席書記官	
岐阜家庭裁判所事務局次長	洞口 敦	熊本家庭裁判所次席書記官	坂梨浩二
名古屋家庭裁判所家事訟廷管理官	川岸哲成	福岡高等裁判所民事訟廷管理官	
福井家庭裁判所事務局次長		那霸地方裁判所事務局総務課長	我喜屋昌司
富山地方裁判所事務局会計課長		福岡高等裁判所事務局総括企画官兼民事	
金沢家庭裁判所事務局長	萩原博志	次席書記官兼刑事次席書記官	
富山家庭裁判所首席書記官		事務総局經理局主計課課長補佐	松尾知己
金沢家庭裁判所事務局次長	東 文博	福岡高等裁判所事務局総務課長	
富山家庭裁判所事務局総務課長		福岡家庭裁判所事務局次長	永野秀治
富山家庭裁判所首席書記官	大林克典	福岡高等裁判所事務局人事課長	
名古屋高等裁判所事務局総括企画官		福岡地方裁判所事務局次長	坂口智美
富山家庭裁判所事務局次長	田中 裕	福岡地方裁判所民事次席書記官	
名古屋高等裁判所事務局会計課企画官		鹿児島地方裁判所民事次席書記官	吉里賢次
広島高等裁判所民事首席書記官	清家和人	福岡地方裁判所刑事首席書記官	
岡山地方裁判所事務局長		大分地方裁判所事務局長兼大分家庭裁判所事務局長	
広島高等裁判所民事次席書記官	田中康茂	福岡地方裁判所事務局次長	下道禎哉
事務総局情報政策課審査官兼民事局審査官		佐賀地方裁判所事務局次長	高崎 宏
広島高等裁判所事務局会計課長	永吉 聰	福岡地方裁判所刑事次席書記官（小倉支部配置）	
広島地方裁判所事務局次長		佐賀家庭裁判所事務局次長	泉 秀樹
広島地方裁判所民事次席書記官	青木陽子	福岡第二検察審査会事務局長	
山口地方裁判所民事次席書記官		福岡第一検察審査会事務局審査課長	伊東直樹
広島地方裁判所事務局次長	桐山早苗	佐賀地方裁判所事務局次長	
鳥取地方裁判所事務局次長		熊本家庭裁判所事務局次長	大跡史法
広島第一検察審査会事務局長	山下勝秀	長崎地方裁判所民事首席書記官	
岡山地方裁判所民事訟廷管理官		福岡家庭裁判所家事次席書記官	上野尚久
山口地方裁判所民事首席書記官	古川広三	長崎地方裁判所刑事次席書記官	
広島高等裁判所民事次席書記官		宮崎簡易裁判所庶務課長兼上席主任書記官	
山口地方裁判所民事次席書記官	片平淳一		長島宏哉
広島高等裁判所刑事訟廷管理官			

長崎地方裁判所事務局長		佐賀家庭裁判所事務局次長	
宮崎地方裁判所事務局長兼宮崎家庭裁判所事務局長	丸尾孝之	鹿児島家庭裁判所事務局総務課長	田中大光
大分地方裁判所民事次席書記官	開 勝憲	長崎家庭裁判所首席書記官	乙須洋武
佐賀地方裁判所民事訟廷管理官	川崎道治	鹿児島地方裁判所刑事次席書記官	
大分地方裁判所刑事首席書記官		長崎家庭裁判所事務局次長	古賀保喜
長崎家庭裁判所首席書記官		福岡高等裁判所民事訟廷管理官	
大分地方裁判所事務局長兼大分家庭裁判所事務局長	田尻昌史	大分家庭裁判所事務局次長	
福岡高等裁判所事務局人事課長		福岡地方裁判所刑事次席書記官（小倉 支部配置）	上甲和歌子
大分地方裁判所事務局次長	中溝香三	熊本家庭裁判所首席書記官	
大分家庭裁判所事務局次長		那霸家庭裁判所事務局次長	横山勝行
大分検察審査会事務局長	杉安祐一	熊本家庭裁判所次席書記官	
大分簡易裁判所庶務課長兼上席主任書記官	三井弘之	大分地方裁判所民事次席書記官	山崎隆央
熊本地方裁判所民事首席書記官	黒田康成	熊本家庭裁判所事務局長	
長崎地方裁判所民事首席書記官	中島輝明	熊本地方裁判所民事首席書記官	井上幹男
熊本地方裁判所刑事次席書記官		熊本家庭裁判所事務局次長	
福岡地方裁判所小倉支部庶務第一課長	渡久山文一	福岡高等裁判所事務局総務課文書企画官	吉田大輔
熊本検察審査会事務局長		鹿児島家庭裁判所首席書記官	
熊本簡易裁判所庶務課長兼上席主任書記官	矢神清朗	宮崎家庭裁判所事務局次長	前田正志
鹿児島地方裁判所民事次席書記官	上川隆二	宮崎家庭裁判所事務局次長	
福岡高等裁判所那霸支部庶務課長兼上席主任書記官		福岡地方裁判所刑事訟廷管理官	岩下 史
鹿児島地方裁判所刑事首席書記官	池田 勉	那霸家庭裁判所事務局長	
鹿児島家庭裁判所首席書記官		福岡高等裁判所民事次席書記官	中里直人
鹿児島地方裁判所刑事次席書記官	脇園 徹	那霸家庭裁判所事務局次長	
熊本地方裁判所事務局会計課長		福岡地方裁判所事務局出納課長	飯田麻美
鹿児島簡易裁判所庶務課長兼上席主任書記官	中井靖夫	仙台高等裁判所民事首席書記官	細井秀俊
鹿児島検察審査会事務局長		福島地方裁判所事務局長	田邊 明
鹿児島検察審査会事務局長	吉岡 誠	仙台高等裁判所民事次席書記官	滝沢紀彰
鹿児島地方裁判所名瀬支部庶務課長兼上席主任書記官	宮下美和	山形地方裁判所事務局次長	
宮崎地方裁判所刑事次席書記官		仙台高等裁判所事務局総務課長	
福岡家庭裁判所少年訟廷管理官	亀山良貴	仙台地方裁判所事務局次長	
宮崎地方裁判所事務局長兼宮崎家庭裁判所事務局長		仙台地方裁判所民事首席書記官	
熊本家庭裁判所首席書記官	宮ノ原和弘	秋田地方裁判所事務局長兼秋田家庭裁判所事務局長	鈴木 靖
那霸地方裁判所事務局長		仙台地方裁判所総括主任書記官	
福岡高等裁判所事務局総務課長	甲斐圭司郎	仙台高等裁判所刑事訟廷管理官	渡邊朋彦
那霸検察審査会事務局長		仙台地方裁判所刑事次席書記官	
那霸簡易裁判所庶務課長兼上席主任書記官		福島地方裁判所民事次席書記官	門脇浩樹
福岡家庭裁判所家事次席書記官		仙台地方裁判所事務局次長	
熊本地方裁判所刑事訟廷管理官兼裁判員調整官		盛岡家庭裁判所事務局次長	平塚慈隆
福岡家庭裁判所事務局次長		仙台検察審査会事務局長	
福岡高等裁判所事務局総括企画官		仙台地方裁判所裁判員調整官	須藤靖弘

福島地方裁判所事務局長		青森家庭裁判所事務局次長	
山形地方裁判所事務局長兼山形家庭裁判所事務局長	秋元 学	青森地方裁判所民事次席書記官	渡辺克明
福島地方裁判所事務局次長	鳴原史浩	札幌高等裁判所民事首席書記官	
仙台地方裁判所事務局総務課長	板野繁樹	釧路地方裁判所事務局長	早坂 弘
山形地方裁判所民事首席書記官		札幌高等裁判所事務局会計課長	
仙台地方裁判所刑事次席書記官	出羽 隆	旭川地方裁判所事務局次長	夕下広士
山形地方裁判所事務局長兼山形家庭裁判所事務局長	澤田哲也	札幌地方裁判所民事次席書記官	
秋田地方裁判所事務局次長	佐藤礼子	札幌高等裁判所事務局人事課企画官	富澤めぐみ
山形地方裁判所事務局次長	岸浪陽子	札幌簡易裁判所首席書記官兼札幌地方裁判所民事次席書記官兼札幌地方裁判所刑事次席書記官	
仙台地方裁判所事務局人事課長	菅原研二	札幌地方裁判所刑事訟廷管理官	山本清史
山形検察審査会事務局長	小抜吉行	札幌検察審査会事務局長	
山形家庭裁判所鶴岡支部庶務課長兼任主任書記官	熊谷浩三	札幌地方裁判所室蘭支部庶務課長兼上席主任書記官	
盛岡地方裁判所刑事首席書記官	堀江秋仁	旭川地方裁判所刑事首席書記官	岡 正美
福島家庭裁判所事務局次長	金澤 学	札幌高等裁判所事務局会計課長	山田和彦
秋田地方裁判所民事首席書記官	蒔苗聖知	旭川地方裁判所事務局次長	
秋田家庭裁判所首席書記官	渡邊健彦	札幌高等裁判所刑事訟廷管理官	日比野貴樹
秋田地方裁判所刑事首席書記官		釧路地方裁判所事務局長	
仙台家庭裁判所事務局次長	赤間哲也	釧路家庭裁判所事務局長	樽本光弘
秋田地方裁判所事務局長兼秋田家庭裁判所事務局長	小笠原勝俊	札幌地方裁判所民事次席書記官	田上弘樹
仙台高等裁判所事務局総務課長	内空閑英敏	高松高等裁判所民事首席書記官	都築浩一
秋田地方裁判所事務局次長	松田雅史	高知地方裁判所事務局長	
仙台高等裁判所事務局会計課企画官	阿部正夫	高松高等裁判所事務局総務課長	藤野明弘
青森地方裁判所民事首席書記官	千石靖之	松山家庭裁判所事務局次長	西田修司
青森地方裁判所刑事首席書記官	庄子 洋	高松高等裁判所事務局会計課長	二宮英範
仙台高等裁判所民事訟廷管理官		高松家庭裁判所事務局次長	
青森地方裁判所刑事首席書記官	後藤 巖	高松地方裁判所民事首席書記官	中原真哉
福島地方裁判所事務局次長		松山地方裁判所民事首席書記官	佐野真一
青森検察審査会事務局長		高松高等裁判所刑事次席書記官	中村哲郎
青森簡易裁判所庶務課長兼任上席主任書記官		高知地方裁判所民事次席書記官	
仙台家庭裁判所首席書記官		高知家庭裁判所事務局総務課長	藤田武士
青森地方裁判所民事首席書記官		高知地方裁判所刑事次席書記官	近森基靖
仙台家庭裁判所事務局次長		高知地方裁判所事務局長兼高知家庭裁判所事務局長	
事務総局人事局職員管理官補佐		高松高等裁判所事務局総務課長	高尾愉理
福島家庭裁判所事務局次長		高知地方裁判所事務局次長	
仙台地方裁判所事務局会計課長		高松高等裁判所事務局総務課文書企画官	五十嵐達郎
盛岡家庭裁判所事務局次長		松山地方裁判所民事首席書記官	
仙台高等裁判所事務局総務課文書企画官		高知地方裁判所事務局次長	石川公寛
秋田家庭裁判所首席書記官		松山地方裁判所民事次席書記官	
仙台高等裁判所民事次席書記官		高松高等裁判所民事訟廷管理官	村岡恵子
青森家庭裁判所首席書記官			
盛岡地方裁判所刑事首席書記官			

松山地方裁判所事務局長	安岡正明	さいたま家庭裁判所川越支部総括主任家庭裁判所調査官
高松高等裁判所事務局会計課長	水野太平	盛岡家庭裁判所花巻支部主任家庭裁判所調査官
松山地方裁判所事務局次長	松岡正樹	西館淳一
高知地方裁判所刑事次席書記官	河北克之	千葉家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
高松家庭裁判所首席書記官	神野 彰	さいたま家庭裁判所川越支部総括主任家庭裁判所調査官
松山地方裁判所民事次席書記官	宮本昌典	千葉家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官
高松家庭裁判所事務局次長	宇都宮英樹	前橋家庭裁判所主任家庭裁判所調査官
徳島家庭裁判所事務局次長	上馬場靖	水戸家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
徳島家庭裁判所事務局次長	中村千世	横浜家庭裁判所川崎支部総括主任家庭裁判所調査官
松山家庭裁判所事務局総務課長	中村墨治	宇都宮家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
松山家庭裁判所首席書記官	斎藤友由樹	福井家庭裁判所事務局長
松山地方裁判所事務局次長	古舘明己	宇都宮家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
松山家庭裁判所事務局次長	小松央典	さいたま家庭裁判所主任家庭裁判所調査官
松山地方裁判所事務局総務課長	濱崎弘子	前橋家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
事務総局家庭局第三課長	塩平 愛	鹿児島家庭裁判所事務局長
大阪家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	横溝良幸	前橋家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
裁判所職員総合研修所事務局企画研修第二課課長	山本尚子	千葉家庭裁判所松戸支部主任家庭裁判所調査官
東京家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	立花好教	盛岡家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
東京家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	木村直樹	静岡家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
静岡家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	平田輝美	津家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
仙台家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	岩永知子	静岡家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
東京家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	山崎明郎	裁判所職員総合研修所事務局企画研修第二課研究企画官兼裁判所職員総合研修所教官
静岡家庭裁判所浜松支部主任家庭裁判所調査官	石川達也	甲府家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
広島家庭裁判所主任家庭裁判所調査官		東京家庭裁判所主任家庭裁判所調査官
長崎家庭裁判所次席家庭裁判所調査官		新潟家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
宮崎家庭裁判所事務局総務課長		高知家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
福島家庭裁判所白河支部主任家庭裁判所調査官		新潟家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
東京家庭裁判所立川支部総括主任家庭裁判所調査官		旭川家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
水戸家庭裁判所事務局総務課長		大阪家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
横浜家庭裁判所首席家庭裁判所調査官		(堺支部配置)
事務総局家庭局第三課長		大阪家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官
横浜家庭裁判所次席家庭裁判所調査官		官
福岡家庭裁判所次席家庭裁判所調査官		東京家庭裁判所主任家庭裁判所調査官
横浜家庭裁判所川崎支部総括主任家庭裁判所調査官		名古屋家庭裁判所主任家庭裁判所調査官
大阪家庭裁判所主任家庭裁判所調査官		名古屋家庭裁判所主任家庭裁判所調査官
さいたま家庭裁判所首席家庭裁判所調査官		旭川家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
新潟家庭裁判所首席家庭裁判所調査官		大阪家庭裁判所次席家庭裁判所調査官
さいたま家庭裁判所次席家庭裁判所調査官		(堺支部配置)
水戸家庭裁判所次席家庭裁判所調査官		京都家庭裁判所次席家庭裁判所調査官

大阪家庭裁判所堺支部総括主任家庭裁判所調査官	富山家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	財前琢郎
松江家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	大阪家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
京都家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	広島家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	梅澤美紀
大津家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	横浜家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
京都家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	広島家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
大阪家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	宇都宮家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	高原正好
名古屋家庭裁判所岡崎支部総括主任家庭裁判所調査官	山口家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
神戸家庭裁判所尼崎支部総括主任家庭裁判所調査官	那霸家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	佐藤 努
徳島家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	山口家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
奈良家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	鹿児島家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	吉田 央
大阪家庭裁判所堺支部総括主任家庭裁判所調査官	岡山家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	川村 隆
岐阜家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	津家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
和歌山家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	鳥取家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	田島朋子
さいたま家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	高松家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	椎野茂雄
名古屋家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	鳥取家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
事務総局人事局審査官	高知家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	佐藤 彩
大阪家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	松江家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
名古屋家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	山口家庭裁判所岩国支部主任家庭裁判所調査官	及川裕康
千葉家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	福岡家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
松江家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	高松家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
名古屋家庭裁判所岡崎支部総括主任家庭裁判所調査官	福岡家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
奈良家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	東京家庭裁判所立川支部上席総括主任家庭裁判所調査官	山田英治
津家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	東京家庭裁判所立川支部上席総括主任家庭裁判所調査官	
名古屋家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	東京家庭裁判所立川支部総括主任家庭裁判所調査官	本多洋子
津家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	佐賀家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
名古屋家庭裁判所一宮支部上席主任家庭裁判所調査官	山口家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	後藤伸一郎
岐阜家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	長崎家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
名古屋家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	大阪高等裁判所家庭裁判所調査官	松井由紀子
岐阜家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	那霸家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	宮田和佳
松山家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	熊本家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	高木章雄
福井家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	宮崎家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
金沢家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	鹿児島家庭裁判所事務局長	
福井家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	裁判所職員総合研修所事務局企画研修第二課長	萱間友道
岐阜家庭裁判所多治見支部主任家庭裁判所調査官	鹿児島家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
金沢家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	鳥取家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	淺原 健
福井家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	鹿児島家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
岐阜家庭裁判所多治見支部主任家庭裁判所調査官	熊本家庭裁判所八代支部主任家庭裁判所調査官	
金沢家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	宮崎家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	川村 哲
福井家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	前橋家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	前川弘行
岐阜家庭裁判所多治見支部主任家庭裁判所調査官	那霸家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
金沢家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	東京家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	鎌田耕一
東京高等裁判所家庭裁判所調査官		

那霸家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
熊本家庭裁判所天草支部主任家庭裁判所調査官	向松民子
仙台家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
前橋家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	小澤久美子
仙台家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
東京家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	財前初美
仙台家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	
さいたま家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	大原健功
山形家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
千葉家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	安積 潤
盛岡家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
福島家庭裁判所郡山支部上席主任家庭裁判所調査官	坂本利恵子
秋田家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
東京家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	土屋 顕
青森家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
函館家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	松山富晴
札幌家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
仙台家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	延味武彦
函館家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
東京家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	佐藤真之
函館家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
秋田家庭裁判所大館支部主任家庭裁判所調査官	谷村和人
旭川家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
函館家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	千場雅浩
釧路家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
東京家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	中田 潔
高松家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
宇都宮家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	小野理恵子
高松家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
千葉家庭裁判所総括主任家庭裁判所調査官	後藤花絵
徳島家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
静岡家庭裁判所沼津支部主任家庭裁判所調査官	千葉幸史
高知家庭裁判所首席家庭裁判所調査官	
岡山家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	福島達夫
松山家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
熊本家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	服部元喜
依頼退官	
水沢簡易裁判所判事	芳村 隆
	(以上 4月 1日)

告 示

最高裁判所通達

◎「大法廷首席書記官等に関する規則の運用について」
の一部改正について

平成6年7月18日総一第183号
高等裁判所長官、地方、家庭裁判所長あて
事務総長依命通達

平成6年7月18日付け最高裁総一第183号事務
総長依命通達「大法廷首席書記官等に関する規則の運
用について」の一部を下記のように改正します。

なお、簡易裁判所に対しては、所管の地方裁判所長
から伝達してください。

記

記第1の1の(3)中「関し」の次に「、総括主任書記
官」を加える。

付記

この通達は、令和4年4月1日から実施する。

裁判所	最高裁判所長官	大谷直人
一 甲府地方裁判所	効力を生ずる日	
二 大津地方裁判所	令和4年4月二十一日	

令和4年3月三十日

◎最高裁判所告示第三号
民事訴訟法（平成八年法律第百九号）第百三十二条の十第一項に規定する電子情報処理組織
を用いてする民事訴訟手続及び行政事件訴訟手続における申立てその他の申述を取り扱う裁判
所が最高裁判所により次に掲げるものと定められたので、民事訴訟法第百三十二条の十第一項
に規定する電子情報処理組織を用いて取り扱う民事訴訟手続における申立てその他の申述等に
関する規則（令和四年最高裁判所規則第一号）第一条第二項に基づき告示する。